

人権・同和問題に関する 市民意識調査報告書

令和7年3月調査

倉吉市

目次

I	実施概要	1
1	調査の目的	1
2	調査の方法	1
3	回収結果	1
4	調査結果の集計表の見方	1
II	標本構成	3
図1	回答者の性別	3
表1	性別の構成	3
図2	回答者の年齢別階層	3
表2	年齢階層別の構成	3
図3	回答者の職業別（総数）	4
図4	回答者の職業別（男女別）	4
表3	職業別の構成	4
表4	地区別の構成	4
III	調査結果	5
問1	あなたは、基本的人権は侵すことのできない永久の権利として憲法で保障されていることを知っていますか。	5
問2	あなたは、過去5年間にご自身が差別や人権侵害を受けたことがありますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。	5
問3-①	問2で「ある」と回答された方にお聞きします。差別や人権侵害を受けたのはどのようなことですか。次の中から特にあてはまるものに○をつけてください。（○はいくつでも）	6
問3-②	同じく問2で「ある」と回答された方にお聞きします。人権侵害を受けた場面はどこですか。あてはまるものに○をつけてください。（○はいくつでも）	8
問3-③	同じく問2で「ある」と回答された方にお聞きします。差別や人権侵害を受けたとき、誰かに相談しましたか。（○はいくつでも）	9
問4-①	あなた自身または家族や知り合いが、過去5年間に、差別的な言動やしぐさ、落書きなどを直接見聞きしたことがありますか。あてはまるものに○をつけてください。（○はいくつでも）	11
問4-①-①	同和地区（被差別部落）の人	11
問4-①-②	身体障がいのある人	12
問4-①-③	知的障がいのある人	13
問4-①-④	精神障がいのある人	14
問4-①-⑤	発達障がいのある人	15
問4-①-⑥	アイヌ先住民族	16
問4-①-⑦	外国にルーツを持つ人	17
問4-①-⑧	病気にかかわる人	18
問4-①-⑨	刑を終えて出所した人	19
問4-①-⑩	犯罪被害者やその家族	20
問4-①-⑪	性的マイノリティ（LGBTQ+）	21
問4-②	質問4-①で、あなたが直接見聞きしたとき、あなたはどうか対応しましたか。	

あてはまるもの一つに○をつけてください。	22
問5-① 本籍、出生、家庭環境、国籍、資産等を本人に了承を得ないで調べることを身元調査と言います。この身元調査についてあなたはどのように思いますか。あなたの考えに近いもの一つに○をつけてください。	23
問5-② 本市では、住民票の写し等を代理人等に交付した場合に登録者にお知らせする制度として「本人通知制度」を実施しています。あなたの状況について、あてはまるもの一つに○をつけてください。	24
問6-① あなたは同和問題（部落差別）※10について、どの程度知っていますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。	25
【問6-①（同和問題の認識）と問24-①（学習会等への参加回数）との関連】	26
問6-② 部落差別の現状について、あなたはどのように考えていますか。次の中から最もあなたの考えに近いもの一つに○をつけてください。	26
【問6-②（部落差別の現状に対する考え）と問24-①（学習会等への参加回数）との関連】	27
問7 同和問題とあなた自身とのかかわりについて、あなたの考えをお聞きます。次の中から最もあなたの考えに近いもの一つに○をつけてください。	28
【問7（同和問題と自分のかかわり）と問24-①（学習会等への参加回数）との関連】 .	29
問8 あなたの周りや親しい人との間で、同和地区の人々に対する差別的な発言や行為を直接見聞きした場合どうしますか。次の中からあてはまるもの一つに○をつけてください。	29
【問8（部落差別を見聞きした時の対応）と問24-①（学習会等への参加回数）との関連】	30
問9 あなたやあなたの子どもが同和地区出身の人と結婚しようとする場合、あなたはどのように対応しますか。次の中からあてはまるもの一つに○をつけてください。 31	
【問9（同和地区出身者との結婚）と問6-①（同和問題の認識）との関連】	32
【問9（同和地区出身者との結婚）と問24-①（学習会等への参加回数）との関連】	32
問10 あなたが住宅を建築する場合に、同和地区に建築することを避けますか。次の中からあてはまるもの一つに○をつけてください。	32
【問10（同和地区に住宅を建築）と問6-①（同和問題の認識）との関連】	33
【問10（同和地区に住宅を建築）と問24-①（学習会等への参加回数）との関連】	33
問11 障がいのある人の人権について現在の状況をどのように考えていますか。あなたの考えに近いものに○をつけてください。（○はいくつでも）	34
問12 身体障がいのある人※11の人権を尊重するためには、どのようなところに問題があると思いますか。特に問題だと思うものに○をつけてください。（○は3つ以内） 35	
問13 知的障がいのある人※12の人権を尊重するためには、どのようなところに問題があると思いますか。特に問題だと思うものに○をつけてください。（○は3つ以内）	37
問14 精神障がいのある人※13の人権を尊重するためには、どのようなところに問題があると思いますか。特に問題だと思うものに○をつけてください。（○は3つ以内）	39
問15 発達障がいのある人※14の人権を尊重するためには、どのようなところに問題があると思いますか。特に問題だと思うものに○をつけてください。（○は3つ以内）	40
問16 女性の人権を尊重するためにはどのようなところに問題があると思いますか。特に問題だと思うものに○をつけてください。（○は3つ以内）	42
問17 あなたは、日本で暮らす外国にルーツを持つ人※16の人権を尊重するためには、どのようなところに問題があると思いますか。特に問題だと思うものに○をつけてく	

	ださい。(○は3つ以内)	43
問 18	子どもの人権を尊重するためには、どのようなところに問題があると思いますか。特に問題だと思うものに○をつけてください。(○は3つ以内)	45
問 19	高齢者の人権を尊重するためには、どのようなところに問題があると思いますか。特に問題だと思うものに○をつけてください。(○は3つ以内)	46
問 20	あなたは、H I V感染者やハンセン病患者・回復者等の人権を尊重するためには、どのようなところに問題があると思いますか。特に問題だと思うものに○をつけてください。(○は3つ以内)	48
問 21	あなたは、刑を終えて出所した人と、職場や地域社会で接する機会が生じたとき、どうしますか。次の中から一つに○をつけてください。	49
問 22	あなたは、犯罪被害者等(犯罪被害者とその家族)の人権を尊重するためにはどのようなところに問題があると思いますか。特に問題だと思うものに○をつけてください。(○は3つ以内)	50
問 23	性的マイノリティ※17の人権を尊重するためには、どのようなところに問題があると思いますか。特に問題だと思うものに○をつけてください。(○は3つ以内)	52
問 24-①	あなたは、過去5年間のうちに人権問題に関する学習会や講演会・研修会に参加したことがありますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。	53
問 24-②	質問 24-①で「4 参加したことがない」と回答された方にお聞きします。参加しなかったのはなぜですか。あてはまるもの一つに○をつけてください。	54
問 25	同和問題をはじめさまざまな人権問題について学習を進めていく上で、あなたはどのような学習方法や啓発活動が重要だと思えますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。	55
問 26	同和問題をはじめさまざまな人権問題について学習を進めていく上で、あなたが関心のある人権問題について、あてはまるものに○をつけてください。(○は3つ以内)	56
問 27	人権が尊重される社会を実現するためには、行政の施策としてどのような取り組みが必要だと思えますか。次の中からあなたの考えに近いものに○をつけてください。(○は3つ以内)	58

Ⅰ 実施概要

1 調査の目的

市民の人権・同和問題に関する意識に係る課題を明確にするため、人権・同和問題に関する啓発・教育の取り組みの効果測定を行い、その結果をより効果的な部落差別をはじめとするあらゆる差別をなくする人権施策の推進に活かすとともに、「第7次倉吉市あらゆる差別をなくする総合計画」の策定に向けた基礎資料とする。

2 調査の方法

- (1) 対象 倉吉市内に在住する16歳以上の市民（準世帯を除く）
- (2) 抽出 住民基本台帳から無作為に男女別・年代別・地区別の人口比率に応じて2,000人を抽出した。
- (3) 方法 調査票を郵送し、無記名により郵送で回収
- (4) 調査期間 令和7年1月31日から令和7年3月3日まで

3 回収結果

- (1) 配布数 2,000人
- (2) 有効回答数 687人
- (3) 有効回答率 34.4%
- (4) 標本誤差 有効回答数の標本誤差は3.7%で誤差率の基準5%未満である。

4 調査結果の集計表の見方

- (1) 比率の表示について
原則として、各設問の無回答を含む集計対象総数に対する百分率（%）を表示している。また、%は小数点以下第2位を四捨五入し、小数点第1位を表示した。
- (2) 無回答の取扱いについて
回答が選択されていない場合、又は回答数の制限を超える回答が選択されている場合は、無回答として取り扱うこととした。
- (3) 各設問の回答選択肢の数値を比較できるよう、各表中にデータバーを表示した。
- (4) 集計の結果
集計結果は小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%とならない場

合がある。

(5) 表中の選択項目の表示

表中の選択項目の表示を一部省略している部分がある。

(6) 設問項目の説明

設問項目の説明については、原則として比率をもとに記述しているが、無回答が極端に多い設問項目については、無回答以外の回答件数で説明を記述している場合がある。

II 標本構成

図1 回答者の性別

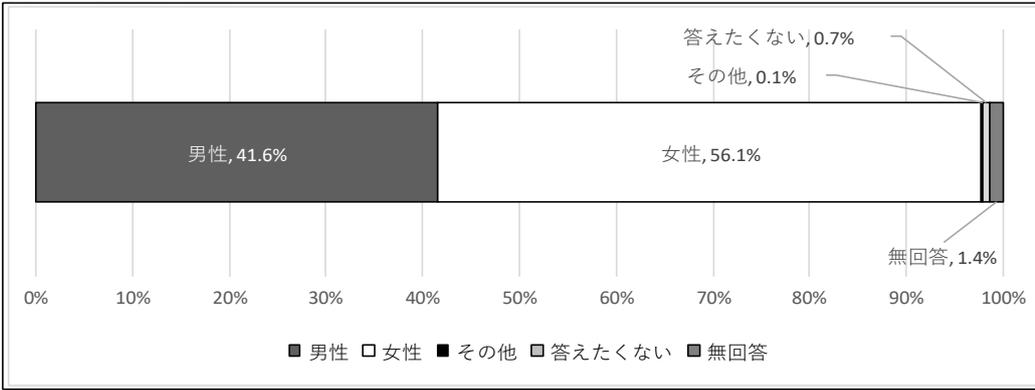
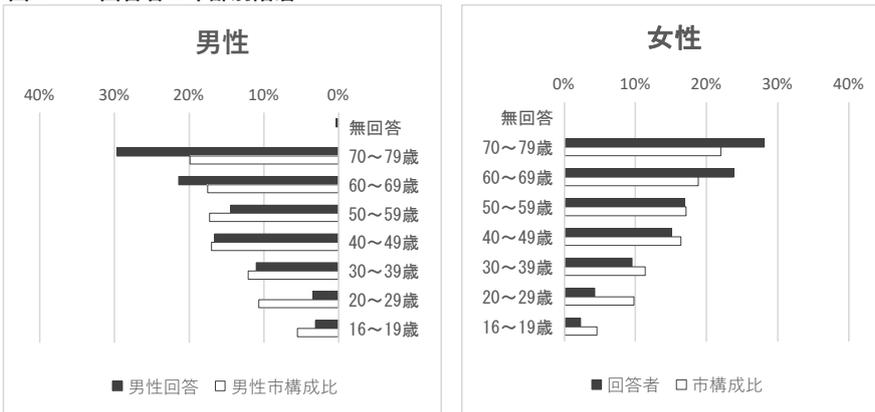


表1 性別の構成

性別	合計(人)	構成比
1 男性	290	41.6%
2 女性	391	56.1%
3 その他	1	0.1%
4 答えたくない	5	0.7%
5 無回答	10	1.4%
合計	697	100.0%

図2 回答者の年齢別階層



※回答者の年齢階層別人口の構成比と倉吉市の年齢階層別人口の構成比を比較したもの。

表2 年齢階層別の構成

区分	合計(人)	構成比
16~19歳	19	2.7%
20~29歳	28	4.0%
30~39歳	69	9.9%
40~49歳	109	15.6%
50~59歳	108	15.5%
60~69歳	156	22.4%
70~79歳	198	28.4%
無回答	10	1.4%
合計	697	100.0%

図3 回答者の職業別（総数）

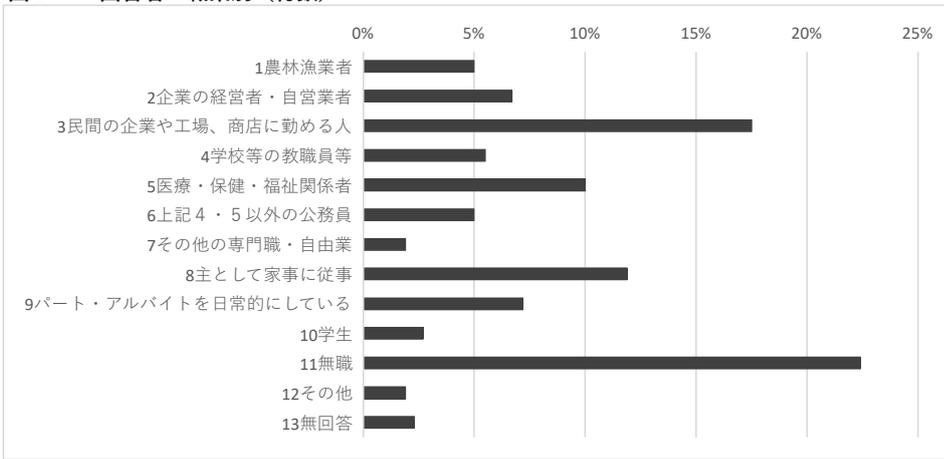


図4 回答者の職業別（男女別）

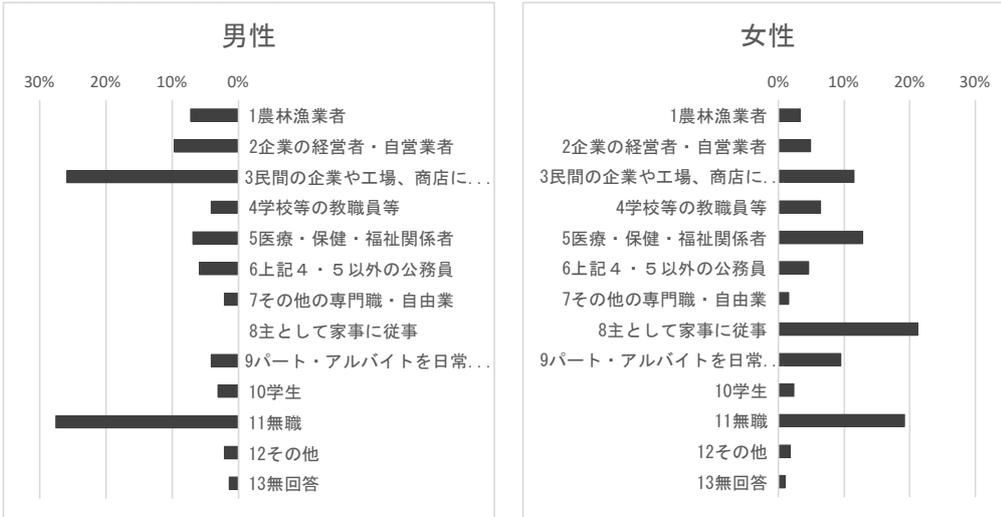


表3 職業別の構成

職業	回答者数 (構成比)	男性 (構成比)	女性 (構成比)	その他 (構成比)	答えたくない (構成比)	無回答 (構成比)
1 農林漁業者	35 人 (5.0%)	21 人 (7.2%)	13 人 (3.3%)	0 人 (0.0%)	0 人 (0.0%)	1 人 (10.0%)
2 企業の経営者・自営業者	47 人 (6.7%)	28 人 (9.7%)	19 人 (4.9%)	0 人 (0.0%)	0 人 (0.0%)	0 人 (0.0%)
3 民間の企業や工場、商店に勤める人	122 人 (17.5%)	75 人 (25.9%)	45 人 (11.5%)	0 人 (0.0%)	2 人 (40.0%)	0 人 (0.0%)
4 学校等の教職員等	38 人 (5.5%)	12 人 (4.1%)	25 人 (6.4%)	0 人 (0.0%)	1 人 (20.0%)	0 人 (0.0%)
5 医療・保健・福祉関係者	70 人 (10.0%)	20 人 (6.9%)	50 人 (12.8%)	0 人 (0.0%)	0 人 (0.0%)	0 人 (0.0%)
6 上記4・5以外の公務員	35 人 (5.0%)	17 人 (5.9%)	18 人 (4.6%)	0 人 (0.0%)	0 人 (0.0%)	0 人 (0.0%)
7 その他の専門職・自由業	13 人 (1.9%)	6 人 (2.1%)	6 人 (1.5%)	0 人 (0.0%)	0 人 (0.0%)	1 人 (10.0%)
8 主として家事に従事	83 人 (11.9%)	0 人 (0.0%)	83 人 (21.2%)	0 人 (0.0%)	0 人 (0.0%)	0 人 (0.0%)
9 パート・アルバイトを日常的にしている	50 人 (7.2%)	12 人 (4.1%)	37 人 (9.5%)	0 人 (0.0%)	1 人 (20.0%)	0 人 (0.0%)
10 学生	19 人 (2.7%)	9 人 (3.1%)	9 人 (2.3%)	1 人 (100.0%)	0 人 (0.0%)	1 人 (10.0%)
11 無職	156 人 (22.4%)	80 人 (27.6%)	75 人 (19.2%)	0 人 (0.0%)	0 人 (0.0%)	1 人 (10.0%)
12 その他	13 人 (1.9%)	6 人 (2.1%)	7 人 (1.8%)	0 人 (0.0%)	0 人 (0.0%)	0 人 (0.0%)
13 無回答	16 人 (2.3%)	4 人 (1.4%)	4 人 (1.0%)	0 人 (0.0%)	1 人 (20.0%)	7 人 (70.0%)
合計	697 人 (100.0%)	290 人 (100.0%)	391 人 (100.0%)	1 人 (100.0%)	5 人 (100.0%)	11 人 (100.0%)

表4 地区別の構成

地区	調査客対数 (A)	有効標本数 (B)	構成比 (B/C)	回収率 (B/A)
上北条	105 人	38 人	5.5%	36.2%
上井	311 人	108 人	15.5%	34.7%
西郷	219 人	68 人	9.8%	31.1%
上灘	239 人	65 人	9.3%	27.2%
成徳	115 人	35 人	5.0%	30.4%
明倫	134 人	45 人	6.5%	33.6%
灘手	38 人	18 人	2.6%	47.4%
社	234 人	82 人	11.8%	35.0%
北谷	53 人	20 人	2.9%	37.7%
高城	79 人	33 人	4.7%	41.8%
小鴨	273 人	98 人	14.1%	35.9%
上小鴨	64 人	22 人	3.2%	34.4%
関金	136 人	45 人	6.5%	33.1%
無回答	-	20 人	2.9%	-
合計	2,000 人	C 697 人	100.0%	

III 調査結果

問1 あなたは、基本的人権は侵すことのできない永久の権利として憲法で保障されていることを知っていますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

選択項目	合計（人）	構成比
1 知っている	620	89.0%
2 知らない	65	9.3%
3 無回答	12	1.7%
合計	697	100.0%

○ 9割近くが「1 知っている」と回答

「2 知らない」と回答した年齢階層別の構成

選択項目	16～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79
2 知らない	5.3%	7.1%	15.9%	9.2%	3.7%	9.6%	11.1%

○「2 知らない」は30歳代が最も高く、次いで70歳代が高くなっている。

問2 あなたは、過去5年間にご自身が差別や人権侵害を受けたことがありますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

選択項目	合計（人）	構成比
1 ある	86	12.3%
2 ない	601	86.2%
3 無回答	10	1.5%
合計	697	100.0%

○R1調査（14.9%）と比較し、「1 ある」が2.6ポイント減少している。

○ 性別では、「1 ある」は、女性が3.8ポイント高い。

選択項目	合計（人）	男	女	答えたくない
1 ある	86	10.3%	14.1%	20.0%

○ 年齢階層別では、「1 ある」は、40歳代（21.1%）が最も高く、次いで30歳代（17.4%）、10歳代（15.8%）が高くなっている。

選択項目	合計（人）	16～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	無回答
1 ある	86	15.8%	7.1%	17.4%	21.1%	12.0%	9.0%	9.6%	0.0%
2 ない	601	84.2%	92.9%	82.6%	78.0%	88.0%	89.1%	87.4%	100.0%
3 無回答	10	0.0%	0.0%	0.0%	0.9%	0.0%	1.9%	3.0%	0.0%
合計	697	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

○ 職業別では、「1 ある」が、「9 パート・アルバイト」(20.0%)が最も高く、次いで「1 農林漁業者」(17.1%)、「4 学校等の教職員等」及び「10 学生」(いずれも15.8%)が高い。一方、最も低いのは「6 4・5以外の公務員」(5.7%)で、次いで「5 医療・保健・福祉関係者」(7.1%)の順になっている。

	合計 (人)	1 農林漁業者	2 企業の 経営者・ 自営業者	3 民間の企 業や工場、 商店に勤め る人	4 学校等の 教職員等	5 医療・ 保健・福 祉関係者	6 4.5以外 の公務員	7 その他の 専門職・自 由業	8 主とし て家事に 従事	9 パー ト・アル バイト	10 学生	11 無職	12 その他	13 無回答
1 ある	86	17.1%	10.6%	13.9%	15.8%	7.1%	5.7%	15.4%	10.8%	20.0%	15.8%	10.3%	15.4%	18.8%
2 ない	601	82.9%	87.2%	83.6%	84.2%	92.9%	94.3%	84.6%	85.5%	80.0%	84.2%	87.8%	84.6%	81.3%
3 無回答	10	0.0%	2.1%	2.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.6%	0.0%	0.0%	1.9%	0.0%	0.0%
合計	697	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

問3-① 問2で「ある」と回答された方にお聞きします。差別や人権侵害を受けたのはどのようなことですか。次の中から特にあてはまるものに○をつけてください。

(○はいくつでも)

○ 問2で「1 ある」と回答した人の差別や人権侵害の種類について、「1 あらぬ噂、他人からの悪口、かげ口」(21.7%)が最も高く、次いで「9 パワー・ハラスメント」(21.1%)、「2 名誉・信用毀損、侮辱」(16.7%)となっている。

選択項目	回答数	構成比
1 あらぬ噂、他人からの悪口、かげ口	39	21.7%
2 名誉・信用毀損(きそん)、侮辱(ぶじょく)	30	16.7%
3 公務員(国・地方公共団体等の職員、警察官、教員等)による不当な取扱い	7	3.9%
4 差別待遇(人種・信条・性別・社会的身分等により不平等・不利益な取扱いをされること)	13	7.2%
5 仲間はずれ、いじめ	17	9.4%
6 暴力、虐待	4	2.2%
7 プライバシーの侵害	14	7.8%
8 セクシュアル・ハラスメント(性的いやがらせ)	6	3.3%
9 パワー・ハラスメント	38	21.1%
10 インターネット上の掲示板等への不適切な書き込み	3	1.7%
11 ストーカー行為	2	1.1%
12 その他	3	1.7%
13 無回答	4	2.2%
合計	180	100.0%

○ 性別では、男性は「1 あらぬ噂、他人からの悪口、かげ口」(24.6%)が最も高く、次いで「2 名誉・信用毀損、侮辱」(23.1%)、「9 パワー・ハラスメント」(21.5%)となっている。女性は「9 パワー・ハラスメント」(21.1%)が最も高く、次いで「1 あらぬ噂、他人からの悪口、かげ口」(20.2%)、「2 名誉・信用毀損、侮辱」(13.2%)となっている。「2 名誉・信用毀損、侮辱」は男性が9.9ポイント高く、「4 差別待遇(人種・信条・性別・社会的身分等により不平等・不利益な取扱いをされること)」は女性が6.5ポイント高くなっている。「11 ストーカー行為」の回答は女性のみであった。

選択項目	合計(人)	男	女	答えたくない
1 あらぬ噂、他人からの悪口、かげ口	39	24.6%	20.2%	0.0%
2 名誉・信用毀損(きそん)、侮辱(ぶじょく)	30	23.1%	13.2%	0.0%
3 公務員(国・地方公共団体等の職員、警察官、教員等)による不当な取扱い	7	1.5%	5.3%	0.0%
4 差別待遇(人種・信条・性別・社会的身分等により不平等・不利益な取扱いをされること)	13	3.1%	9.6%	0.0%
5 仲間はずれ、いじめ	17	9.2%	9.6%	0.0%
6 暴力、虐待	4	3.1%	1.8%	0.0%
7 プライバシーの侵害	14	9.2%	7.0%	0.0%
8 セクシュアル・ハラスメント(性的いやがらせ)	6	1.5%	4.4%	0.0%
9 パワー・ハラスメント	38	21.5%	21.1%	0.0%
10 インターネット上の掲示板等への不適切な書き込み	3	3.1%	0.9%	0.0%
11 ストーカー行為	2	0.0%	1.8%	0.0%
12 その他	3	0.0%	2.6%	0.0%
13 無回答	4	0.0%	2.6%	100.0%
合計	180	100%	100%	100%

○ 年齢階層別では、「1 あらぬ噂、他人からの悪口、かげ口」は70歳代(32.3%)、10歳代(25.0%)、40歳代(23.2%)、60歳代(22.2%)の順に高くなっている。「9 パワー・ハラスメント」は50歳代(29.2%)、40歳代(23.2%)、30歳代(21.2%)の順に高くなっている。

選択項目	合計(人)	16~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79
1	39	25.0%	0.0%	15.2%	23.2%	16.7%	22.2%	32.3%
2	30	0.0%	20.0%	18.2%	16.1%	20.8%	22.2%	9.7%
3	7	25.0%	0.0%	3.0%	3.6%	0.0%	7.4%	3.2%
4	13	25.0%	20.0%	9.1%	3.6%	8.3%	3.7%	9.7%
5	17	25.0%	0.0%	3.0%	14.3%	8.3%	11.1%	6.5%
6	4	0.0%	0.0%	0.0%	3.6%	0.0%	0.0%	6.5%
7	14	0.0%	0.0%	12.1%	5.4%	8.3%	7.4%	9.7%
8	6	0.0%	0.0%	9.1%	1.8%	4.2%	3.7%	0.0%
9	38	0.0%	20.0%	21.2%	23.2%	29.2%	18.5%	16.1%
10	3	0.0%	20.0%	3.0%	1.8%	0.0%	0.0%	0.0%
11	2	0.0%	0.0%	3.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.2%
12	3	0.0%	20.0%	0.0%	1.8%	4.2%	0.0%	0.0%
13	4	0.0%	0.0%	3.0%	1.8%	0.0%	3.7%	3.2%
合計	180	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

○ 職業別では、「1 あらぬ噂、他人からの悪口、かげ口」は「1 農林漁業者」(50.0%)が最も高く、次いで「2 企業の経営者・自営業者」(40.0%)、「10 学生」(25.0%)の順に高い。「9 パワー・ハラスメント」は、「6 4・5以外の公務員」(100%)が最も高く、「5 医療・保健・福祉関係者」及び「9 パート・アルバイト」(いずれも30.0%)の順に高く、「10 学生」以外の職種でパワー・ハラスメントを受けたことがあると回答している。

選択項目	合計	1 農林漁業者	2 企業の経営者・自営業者	3 民間の企業や工場、商店に勤める人	4 学校等の教職員等	5 医療・保健・福祉関係者	6 4・5以外の公務員	7 その他の専門職・自由業	8 主として家事に従事	9 パート・アルバイト	10 学生	11 無職	12 その他	13 無回答
1	39	50.0%	40.0%	22.9%	11.1%	20.0%	0.0%	0.0%	21.7%	15.0%	25.0%	20.0%	20.0%	25.0%
2	30	16.7%	0.0%	20.8%	22.2%	10.0%	0.0%	25.0%	17.4%	5.0%	0.0%	24.0%	0.0%	25.0%
3	7	0.0%	0.0%	4.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.3%	15.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%
4	13	0.0%	20.0%	2.1%	5.6%	20.0%	0.0%	25.0%	8.7%	5.0%	25.0%	12.0%	0.0%	0.0%
5	17	8.3%	0.0%	12.5%	0.0%	10.0%	0.0%	0.0%	13.0%	5.0%	25.0%	16.0%	0.0%	0.0%
6	4	8.3%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.0%	0.0%	4.0%	0.0%	0.0%
7	14	8.3%	0.0%	8.3%	11.1%	0.0%	0.0%	25.0%	8.7%	10.0%	0.0%	0.0%	20.0%	25.0%
8	6	0.0%	0.0%	4.2%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.0%	20.0%	0.0%
9	38	8.3%	20.0%	20.8%	22.2%	30.0%	100.0%	25.0%	17.4%	30.0%	0.0%	20.0%	20.0%	0.0%
10	3	0.0%	0.0%	2.1%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
11	2	0.0%	0.0%	0.0%	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%	4.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
12	3	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
13	4	0.0%	0.0%	2.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.3%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	25.0%
合計	180	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

問3-② 同じく問2で「ある」と回答された方にお聞きします。人権侵害を受けた場面はどこですか。あてはまるものに○をつけてください。(○はいくつでも)

選択項目	合計(人)	構成比
1 家庭	12	10.7%
2 地域	34	30.4%
3 職場	52	46.4%
4 学校	5	4.5%
5 保育所等	0	0.0%
6 インターネット上のSNS	3	2.7%
7 その他	6	5.4%
合計	112	100%

○「3 職場」(46.4%)が最も多く、次いで「2 地域」(30.4%)、「1 家庭」(10.7%)となっている。

○ 性別では、男性の6割近くが「3 職場」と回答している。女性は「3 職場」(41.9%)が最も多く、次いで男女ともに「2 地域」(いずれも29.7%)となっている。「1 家庭」は女性が12.2ポイント高い。

選択項目	回答数	男	女	答えたくない
1 家庭	12	2.7%	14.9%	0.0%
2 地域	34	29.7%	29.7%	100.0%
3 職場	52	56.8%	41.9%	0.0%
4 学校	5	2.7%	5.4%	0.0%
5 保育所等	0	0.0%	0.0%	0.0%
6 インターネット上のSNS	3	5.4%	1.4%	0.0%
7 その他	6	2.7%	6.8%	0.0%
合計	112	100%	100%	100%

○ 年齢階層別では、10歳代を除く年齢階層で「3 職場」が最も高い。60歳代及び70歳代は「2 地域」が「3 職場」と同率で高い。10歳代は「4 学校」（66.7%）が最も高い。

選択項目	回答数	16～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79
1	12	0.0%	0.0%	11.8%	16.7%	16.7%	5.3%	4.3%
2	34	33.3%	0.0%	17.6%	20.0%	27.8%	47.4%	43.5%
3	52	0.0%	100%	47.1%	50.0%	44.4%	47.4%	43.5%
4	5	66.7%	0.0%	5.9%	3.3%	5.6%	0.0%	0.0%
5	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
6	3	0.0%	0.0%	5.9%	6.7%	0.0%	0.0%	0.0%
7	6	0.0%	0.0%	11.8%	3.3%	5.6%	0.0%	8.7%
合計	112	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

○ 職業別では、「3 職場」が、「3 民間の企業や工場、商店に勤める人」（63.6%）、「5 医療・保健・福祉関係者」（100%）、「6 4・5以外の公務員」（100%）、「7 その他の専門職・自由業」（50.0%）、「9 パート・アルバイト」（50.0%）で5割に達している。「2 企業の経営者・自営業者」は「2 地域」が6割と高い。「10 学生」は「4 学校」（66.7%）が最も高くなっている。

選択項目	回答数	1 農林漁業者	2 企業の経営者・自営業者	3 民間の企業や工場、商店に勤める人	4 学校等の教職員等	5 医療・保健・福祉関係者	6 4・5以外の公務員	7 その他の専門職・自由業	8 主として家事に従事	9 パート・アルバイト	10 学生	11 無職	12 その他	13 無回答
1	12	0.0%	20.0%	4.5%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	23.5%	21.4%	0.0%	5.3%	25.0%	0.0%
2	34	37.5%	60.0%	18.2%	11.1%	0.0%	0.0%	50.0%	29.4%	21.4%	33.3%	47.4%	25.0%	100%
3	52	37.5%	20.0%	63.6%	44.4%	100%	100%	50.0%	29.4%	50.0%	0.0%	42.1%	50.0%	0.0%
4	5	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	5.9%	7.1%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%
5	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
6	3	0.0%	0.0%	4.5%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	5.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
7	6	25.0%	0.0%	9.1%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	5.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
合計	112	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

問3-③ 同じく問2で「ある」と回答された方にお聞きします。差別や人権侵害を受けたとき、誰かに相談しましたか。（○はいくつでも）

選択項目	回答数	構成比
1 友人、同僚、上司	38	31.7%
2 両親、兄弟姉妹、子ども、親戚	24	20.0%
3 職場の人権担当相談員	7	5.8%
4 学校等の教職員等	3	2.5%
5 弁護士	4	3.3%
6 国や県、市の人権相談窓口	5	4.2%
7 誰にも相談しなかった	31	25.8%
8 その他	7	5.8%
9 無回答	1	0.8%
合計	120	100%

○「1 友人、同僚、上司」（31.7%）が最も高く、次いで「7 誰にも相談しなかった」（25.8%）、「2 両親、兄弟姉妹、子ども、親戚」（20.0%）の順である。

○ 性別では、男女ともに「1 友人、同僚、上司」が最も高く、次いで「7 誰にも相談しなかった」が高い。女性は「2 両親、兄弟姉妹、子ども、親戚」（25.3%）も高くなっている。

選択項目	回答数	男	女	答えたくない
1 友人、同僚、上司	38	34.1%	30.7%	0%
2 両親、兄弟姉妹、子ども、親戚	24	11.4%	25.3%	0%
3 職場の人権担当相談員	7	9.1%	4.0%	0%
4 学校等の教職員等	3	4.5%	1.3%	0%
5 弁護士	4	6.8%	1.3%	0%
6 国や県、市の人権相談窓口	5	2.3%	5.3%	0%
7 誰にも相談しなかった	31	25.0%	25.3%	100%
8 その他	7	6.8%	5.3%	0%
9 無回答	1	0.0%	1.3%	0.0%
合計	120	100%	100%	100%

○ 年齢階層別では、10歳代は「2 両親、兄弟姉妹、子ども、親戚」が最も高く、20歳代は「1 友人、同僚、上司」が高い。60歳代、70歳代と年齢が高くなるにつれ「7 誰にも相談しなかった」と回答した人の割合が高くなっている。

選択項目	回答数	16~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79
1	38	33.3%	50.0%	30.0%	42.9%	34.8%	19.0%	26.1%
2	24	66.7%	0.0%	25.0%	14.3%	26.1%	19.0%	13.0%
3	7	0.0%	0.0%	10.0%	7.1%	8.7%	4.8%	0.0%
4	3	0.0%	0.0%	5.0%	3.6%	0.0%	0.0%	4.3%
5	4	0.0%	0.0%	5.0%	3.6%	0.0%	9.5%	0.0%
6	5	0.0%	0.0%	5.0%	0.0%	13.0%	0.0%	4.3%
7	31	0.0%	0.0%	15.0%	21.4%	17.4%	28.6%	52.2%
8	7	0.0%	50.0%	5.0%	7.1%	0.0%	14.3%	0.0%
9	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.8%	0.0%
合計	120	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

○ 職業別では、「1 友人、同僚、上司」は「3 民間の企業や工場、商店に勤める人」、「5 医療・保健・福祉関係者」がいずれも5割以上と高い。「2 両親、兄弟姉妹、子ども、親戚」は「7 その他の専門職・自由業」、「10 学生」が最も高く、「3 職場の人権担当相談員」「6 国や県、市の人権相談窓口」は「6 4・5以外の公務員」が高い。「7 誰にも相談しなかった」は「11 無職」（47.4%）、「8 主として家事に従事」（38.5%）が高い。

選択項目	回答数	1 農林漁業者	2 企業の経営者・自営業者	3 民間の企業や工場、商店に勤める人	4 学校等の教職員等	5 医療・保健・福祉関係者	6 4・5以外の公務員	7 その他の専門職・自由業	8 主として家事に従事	9 パート・アルバイト	10 学生	11 無職	12 その他	13 無回答
1	38	30.0%	16.7%	55.0%	30.0%	50.0%	25.0%	33.3%	30.8%	25.0%	33.3%	21.1%	25.0%	0.0%
2	24	10.0%	16.7%	25.0%	20.0%	12.5%	0.0%	66.7%	23.1%	18.8%	66.7%	21.1%	0.0%	0%
3	7	10.0%	0.0%	0.0%	20.0%	12.5%	25.0%	0.0%	0.0%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
4	3	10.0%	0.0%	0.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	6.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
5	4	10.0%	0.0%	10.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
6	5	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%	25.0%	0.0%	7.7%	6.3%	0.0%	5.3%	0.0%	0.0%
7	31	30.0%	33.3%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	38.5%	25.0%	0.0%	47.4%	50.0%	100.0%
8	7	0.0%	33.3%	5.0%	0.0%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	6.3%	0.0%	5.3%	25.0%	0.0%
9	1	0.0%	0.0%	5.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
合計	120	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

問4-① あなた自身または家族や知り合いが、過去5年間に、差別的な言動やしぐさ、落書きなどを直接見聞きしたことがありますか。あてはまるものに○をつけてください。（○はいくつでも）

問4-①-① 同和地区（被差別部落）の人

選択項目	回答数	構成比
1 結婚への反対	15	2.1%
2 就職時や職場での不利な扱い	5	0.7%
3 差別発言	21	2.9%
4 差別落書きや差別投書	7	1.0%
5 住民としての交流や付き合いを避ける	6	0.8%
6 インターネット上の不当な書き込み	18	2.5%
7 身元調査や問い合わせ	11	1.5%
8 無回答	643	88.6%
合計	726	100%

○回答件数83件のうち、「3 差別発言」（21件）が最も多く、次いで「6 インターネット上の不当な書き込み」（18件）、「1 結婚への反対」（15件）の順に多い。

○性別では、男性は「6 インターネット上の不当な書き込み」（4.3%）最も多く、女性より3.1ポイント高い。女性は「3 差別発言」（2.5%）が最も多い。

選択項目	回答数	男	女	その他	答えたくない
1 結婚への反対	15	2.0%	2.0%	33.3%	0%
2 就職時や職場での不利な扱い	5	1.0%	0.5%	0.0%	0%
3 差別発言	21	3.3%	2.5%	0.0%	20%
4 差別落書きや差別投書	7	1.0%	1.0%	0.0%	0%
5 住民としての交流や付き合いを避ける	6	1.0%	0.7%	0.0%	0%
6 インターネット上の不当な書き込み	18	4.3%	1.2%	0.0%	0%
7 身元調査や問い合わせ	11	1.7%	1.2%	33.3%	0%
8 無回答	643	85.8%	90.9%	33.3%	80%
合計	726	100%	100%	100%	100%

○年齢階層別では、10歳代は「3 差別発言」、20歳代は「6 インターネット上の不当な書き込み」を見聞きした人が多い。70歳代は「7 身元調査や問い合わせ」が多い。

選択項目	回答数	16～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	無回答
1	15	7.7%	0.0%	0.0%	0.9%	0.9%	2.5%	3.4%	0.0%
2	5	3.8%	0.0%	0.0%	1.8%	0.9%	0.0%	0.5%	0.0%
3	21	11.5%	0.0%	4.3%	3.5%	0.0%	3.1%	2.9%	0.0%
4	7	3.8%	0.0%	0.0%	0.9%	0.9%	1.2%	1.0%	0.0%
5	6	7.7%	0.0%	0.0%	0.9%	0.0%	1.2%	0.5%	0.0%
6	18	3.8%	10.7%	4.3%	1.8%	0.0%	3.1%	1.9%	0.0%
7	11	0.0%	3.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%	4.3%	0.0%
8	643	61.5%	85.7%	91.4%	90.3%	97.2%	88.3%	85.6%	100.0%
合計	726	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

問4-①-② 身体障がいのある人

選択項目	回答数	構成比
1 結婚への反対	7	1.0%
2 就職時や職場での不利な扱い	10	1.4%
3 差別発言	27	3.8%
4 差別落書きや差別投書	1	0.1%
5 住民としての交流や付き合いを避ける	6	0.8%
6 インターネット上の不当な書き込み	12	1.7%
7 身元調査や問い合わせ	4	0.6%
8 無回答	650	90.7%
合計	717	100%

○回答件数67件のうち、「3 差別発言」（27件）が最も多く、次いで「6 インターネット上の不当な書き込み」（12件）、「2 就職時や職場での不利な扱い」（10件）の順に多い。

○性別では、男女ともに「3 差別発言」が最も高い。「1 結婚への反対」及び「2 就職時や職場での不利な扱い」は女性が高くなっている。

選択項目	回答数	男	女	その他	答えたくない	無回答
1 結婚への反対	7	0.7%	1.2%	0.0%	0.0%	0.0%
2 就職時や職場での不利な扱い	10	1.3%	1.5%	0.0%	0.0%	0.0%
3 差別発言	27	5.0%	3.0%	0.0%	0.0%	0.0%
4 差別落書きや差別投書	1	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
5 住民としての交流や付き合いを避ける	6	1.3%	0.5%	0.0%	0.0%	0.0%
6 インターネット上の不当な書き込み	12	2.0%	1.2%	0.0%	16.7%	0.0%
7 身元調査や問い合わせ	4	0.7%	0.5%	0.0%	0.0%	0.0%
8 無回答	650	88.6%	92.0%	100.0%	83.3%	100.0%
合計	717	100%	100%	100%	100%	100%

○年齢階層別では、「3 差別発言」は10歳代が最も多く、「6 インターネット上の不当な書き込み」は20歳代が最も多く見聞きしている。

選択項目	回答数	16~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	無回答
1	7	4.3%	0.0%	1.4%	0.9%	0.0%	1.3%	1.0%	0.0%
2	10	4.3%	0.0%	1.4%	1.8%	0.9%	0.0%	2.5%	0.0%
3	27	8.7%	6.9%	4.3%	3.5%	0.9%	3.8%	4.4%	0.0%
4	1	4.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
5	6	4.3%	3.4%	0.0%	0.9%	0.0%	0.6%	1.0%	0.0%
6	12	0.0%	17.2%	4.3%	2.6%	0.0%	0.6%	0.0%	0.0%
7	4	0.0%	3.4%	0.0%	0.0%	0.0%	1.3%	0.5%	0.0%
8	650	73.9%	69.0%	88.6%	90.4%	98.1%	92.5%	90.6%	100.0%
合計	717	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

問4-①-③ 知的障がいのある人

選択項目	回答数	構成比
1 結婚への反対	8	1.1%
2 就職時や職場での不利な扱い	13	1.8%
3 差別発言	26	3.6%
4 差別落書きや差別投書	1	0.1%
5 住民としての交流や付き合いを避ける	5	0.7%
6 インターネット上の不当な書き込み	13	1.8%
7 身元調査や問い合わせ	3	0.4%
8 無回答	654	90.5%
合計	723	100%

○回答件数69件のうち、「3 差別発言」（26件）が最も多く、次いで「2 就職時や職場での不利な扱い」「6 インターネット上の不当な書き込み」（いずれも13件）となっている。

○性別では、男女ともに「3 差別発言」が最も多い。「6 インターネット上の不当な書き込み」は、男性が1.5ポイント高い。

選択項目	回答数	男	女	その他	答えたくない	無回答
1 結婚への反対	8	1.0%	1.2%	0.0%	0.0%	0.0%
2 就職時や職場での不利な扱い	13	2.0%	1.7%	0.0%	0.0%	0.0%
3 差別発言	26	3.3%	3.9%	0.0%	0.0%	0.0%
4 差別落書きや差別投書	1	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
5 住民としての交流や付き合いを避ける	5	1.0%	0.5%	0.0%	0.0%	0.0%
6 インターネット上の不当な書き込み	13	2.7%	1.2%	0.0%	0.0%	0.0%
7 身元調査や問い合わせ	3	0.3%	0.5%	0.0%	0.0%	0.0%
8 無回答	654	89.3%	90.9%	100.0%	100.0%	100.0%
合計	723	100%	100%	100%	100%	100%

○年齢階層別では、「3 差別発言」は10歳代から30歳代に多く、「6 インターネット上の不当な書き込み」は20歳代が最も多い。

選択項目	回答数	16～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	無回答
1	8	4.0%	0.0%	2.7%	0.9%	0.0%	1.3%	1.0%	0.0%
2	13	8.0%	0.0%	2.7%	2.6%	0.9%	0.0%	2.5%	0.0%
3	26	8.0%	10.0%	6.7%	5.3%	2.7%	1.9%	2.0%	0.0%
4	1	4.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
5	5	8.0%	0.0%	1.3%	0.9%	0.0%	0.6%	0.0%	0.0%
6	13	0.0%	16.7%	5.3%	1.8%	0.9%	0.6%	0.0%	0.0%
7	3	0.0%	3.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%	0.5%	0.0%
8	654	68.0%	70.0%	81.3%	88.6%	95.5%	94.9%	94.0%	100.0%
合計	723	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

問4-①-④ 精神障がいのある人

選択項目	回答数	構成比
1 結婚への反対	8	1.1%
2 就職時や職場での不利な扱い	12	1.7%
3 差別発言	16	2.2%
4 差別落書きや差別投書	2	0.3%
5 住民としての交流や付き合いを避ける	9	1.3%
6 インターネット上の不当な書き込み	14	1.9%
7 身元調査や問い合わせ	3	0.4%
8 無回答	656	91.1%
合計	720	100%

○回答件数64件のうち、「3 差別発言」(16件)が最も多く、次いで「6 インターネット上の不当な書き込み」(14件)、「2 就職時や職場での不利な扱い」(12件)となっている。「5 住民としての交流や付き合いを避ける」(1.3%)が他の障がいのある人より高くなっている。

○性別では、男性は「6 インターネット上の不当な書き込み」が最も多く、女性より1.8ポイント高い。女性は「2 就職時や職場での不利な扱い」が最も高く、男性より1.2ポイント高い。

選択項目	回答数	男	女	その他	答えたくない	無回答
1 結婚への反対	8	1.0%	1.2%	0.0%	0.0%	0.0%
2 就職時や職場での不利な扱い	12	1.0%	2.2%	0.0%	0.0%	0.0%
3 差別発言	16	2.7%	2.0%	0.0%	0.0%	0.0%
4 差別落書きや差別投書	2	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
5 住民としての交流や付き合いを避ける	9	1.7%	1.0%	0.0%	0.0%	0.0%
6 インターネット上の不当な書き込み	14	3.0%	1.2%	0.0%	0.0%	0.0%
7 身元調査や問い合わせ	3	0.3%	0.5%	0.0%	0.0%	0.0%
8 無回答	656	89.6%	91.9%	100.0%	100.0%	100.0%
合計	720	100%	100%	100%	100%	100%

○年齢階層別では、「6 インターネット上の不当な書き込み」は20歳代が最も多い。「3 差別発言」は各年齢層において多く、「1 結婚への反対」は70歳代が最も多い。

選択項目	回答数	16～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	無回答
1	8	0.0%	0.0%	1.4%	0.9%	0.0%	1.3%	2.0%	0.0%
2	12	4.5%	3.3%	2.7%	2.6%	0.9%	1.3%	1.0%	0.0%
3	16	4.5%	3.3%	5.5%	3.5%	0.9%	1.9%	1.0%	0.0%
4	2	4.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%	0.0%	0.0%
5	9	4.5%	3.3%	2.7%	0.9%	0.0%	0.6%	1.5%	0.0%
6	14	0.0%	16.7%	5.5%	1.8%	0.9%	0.6%	0.5%	0.0%
7	3	0.0%	3.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%	0.5%	0.0%
8	656	81.8%	70.0%	82.2%	90.4%	97.2%	93.1%	93.6%	100.0%
合計	720	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

問4-①-⑤ 発達障がいのある人

選択項目	回答数	構成比
1 結婚への反対	5	0.7%
2 就職時や職場での不利な扱い	12	1.7%
3 差別発言	30	4.2%
4 差別落書きや差別投書	1	0.1%
5 住民としての交流や付き合いを避ける	7	1.0%
6 インターネット上の不当な書き込み	13	1.8%
7 身元調査や問い合わせ	4	0.6%
8 無回答	648	90.0%
合計	720	100%

○回答件数72件のうち、「3 差別発言」(30件)が最も多く、次いで「6 インターネット上の不当な書き込み」(13件)、「2 就職時や職場での不利な扱い」(12件)となっている。「3 差別発言」(4.2%)について他の障がいのある人と比較すると最も高くなっている。

○性別では、男女ともに「3 差別発言」が最も多く、「2 就職時や職場での不利な扱い」は女性が1.8ポイント高い。

選択項目	回答数	男	女	その他	答えたくない	無回答
1 結婚への反対	5	0.7%	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%
2 就職時や職場での不利な扱い	12	0.7%	2.5%	0.0%	0.0%	0.0%
3 差別発言	30	3.4%	4.9%	0.0%	0.0%	0.0%
4 差別落書きや差別投書	1	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
5 住民としての交流や付き合いを避ける	7	1.0%	1.0%	0.0%	0.0%	0.0%
6 インターネット上の不当な書き込み	13	2.0%	1.7%	0.0%	0.0%	0.0%
7 身元調査や問い合わせ	4	0.3%	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%
8 無回答	648	91.6%	88.4%	100.0%	100.0%	100.0%
合計	720	100%	100%	100%	100%	100%

○年齢階層別では、「6 インターネット上の不当な書き込み」は20歳代が最も多い。「3 差別発言」は、各年齢において多い。

選択項目	回答数	16~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	無回答
1	5	0.0%	0.0%	1.4%	0.9%	0.0%	1.2%	0.5%	0.0%
2	12	4.5%	0.0%	2.7%	2.6%	0.9%	1.9%	1.0%	0.0%
3	30	9.1%	6.9%	8.2%	6.1%	6.4%	3.1%	0.5%	0.0%
4	1	4.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
5	7	4.5%	0.0%	1.4%	1.7%	0.9%	0.6%	0.5%	0.0%
6	13	0.0%	17.2%	5.5%	1.7%	0.9%	0.0%	0.5%	0.0%
7	4	0.0%	3.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%	1.0%	0.0%
8	648	77.3%	72.4%	80.8%	87.0%	90.9%	92.5%	96.0%	100.0%
合計	720	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

問4-①-⑥ アイヌ先住民族

選択項目	回答数	構成比
1 結婚への反対	1	0.1%
2 就職時や職場での不利な扱い	1	0.1%
3 差別発言	3	0.4%
4 差別落書きや差別投書	1	0.1%
5 住民としての交流や付き合いを避ける	1	0.1%
6 インターネット上の不当な書き込み	5	0.7%
7 身元調査や問い合わせ	4	0.6%
8 無回答	687	97.7%
合計	703	100%

○無回答が97.7%。回答件数16件のうち、「6 インターネット上の不当な書き込み」（5件）が最も多い。

○ 性別では、男性は「6 インターネット上の不当な書き込み」（1.0%）が最も多く、女性は「7 身元調査や問い合わせ」（0.8%）が最も多い。

選択項目	回答数	男	女	その他	答えたくない	無回答
1 結婚への反対	1	0.0%	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%
2 就職時や職場での不利な扱い	1	0.0%	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%
3 差別発言	3	0.3%	0.5%	0.0%	0.0%	0.0%
4 差別落書きや差別投書	1	0.0%	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%
5 住民としての交流や付き合いを避ける	1	0.0%	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%
6 インターネット上の不当な書き込み	5	1.0%	0.5%	0.0%	0.0%	0.0%
7 身元調査や問い合わせ	4	0.3%	0.8%	0.0%	0.0%	0.0%
8 無回答	687	98.3%	97.2%	100.0%	100.0%	100.0%
合計	16	100%	100%	100%	100%	100%

○ 年齢階層別では、「6 インターネット上の不当な書き込み」は20歳代が最も多く、次いで60歳代が多い。「3 差別発言」は、30歳代が最も多く、次いで60歳代となっている。

選択項目	回答数	16～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	無回答
1	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%	0.0%	0.0%
2	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%	0.0%	0.0%
3	3	0.0%	0.0%	1.4%	0.0%	0.0%	1.2%	0.0%	0.0%
4	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%	0.0%	0.0%
5	1	0.0%	0.0%	1.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
6	5	0.0%	3.6%	1.4%	0.0%	0.0%	1.9%	0.0%	0.0%
7	4	0.0%	3.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%	1.0%	0.0%
8	687	100.0%	92.9%	95.8%	100.0%	100.0%	94.4%	99.0%	100.0%
合計	703	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

問4-①-⑦ 外国にルーツを持つ人

選択項目	回答数	構成比
1 結婚への反対	4	0.6%
2 就職時や職場での不利な扱い	3	0.4%
3 差別発言	15	2.1%
4 差別落書きや差別投書	2	0.3%
5 住民としての交流や付き合いを避ける	5	0.7%
6 インターネット上の不当な書き込み	12	1.7%
7 身元調査や問い合わせ	4	0.6%
8 無回答	666	93.7%
合計	711	100%

○回答件数45件のうち、「3 差別発言」（15件）が最も多く、次いで「6 インターネット上の不当な書き込み」（12件）が多い。

○性別では、男性は「6 インターネット上の不当な書き込み」（2.4%）が最も多く、男性が1.2ポイント高い。女性は「3 差別発言」（2.5%）が最も多い。

選択項目	回答数	男	女	その他	答えたくない	無回答
1 結婚への反対	4	0.7%	0.2%	0.0%	20.0%	0.0%
2 就職時や職場での不利な扱い	3	0.0%	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%
3 差別発言	15	1.7%	2.5%	0.0%	0.0%	0.0%
4 差別落書きや差別投書	2	0.0%	0.5%	0.0%	0.0%	0.0%
5 住民としての交流や付き合いを避ける	5	0.3%	1.0%	0.0%	0.0%	0.0%
6 インターネット上の不当な書き込み	12	2.4%	1.2%	0.0%	0.0%	0.0%
7 身元調査や問い合わせ	4	0.3%	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%
8 無回答	666	94.5%	93.1%	100.0%	80.0%	100.0%
合計	711	100%	100%	100%	100%	100%

○年齢階層別では、「5 住民としての交流や付き合いを避ける」は10歳代が最も多く、「6 インターネット上の不当な書き込み」は、20歳代が最も多い。「1 結婚への反対」は60歳代が最も少なくなっている。

選択項目	回答数	16～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	無回答
1	4	0.0%	0.0%	0.0%	0.9%	0.0%	1.8%	0.0%	0.0%
2	3	4.3%	0.0%	0.0%	0.9%	0.0%	0.6%	0.0%	0.0%
3	15	4.3%	6.9%	4.3%	4.5%	0.9%	1.8%	0.0%	0.0%
4	2	4.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%	0.0%	0.0%
5	5	8.7%	0.0%	0.0%	1.8%	0.0%	0.6%	0.0%	0.0%
6	12	4.3%	13.8%	1.4%	0.9%	0.9%	1.2%	1.0%	0.0%
7	4	0.0%	3.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%	1.0%	0.0%
8	666	73.9%	75.9%	94.2%	91.0%	98.1%	92.6%	98.0%	100.0%
合計	711	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

問4-①-⑧ 病気にかかわる人

選択項目	回答数	構成比
1 結婚への反対	4	0.6%
2 就職時や職場での不利な扱い	3	0.4%
3 差別発言	8	1.1%
4 差別落書きや差別投書	4	0.6%
5 住民としての交流や付き合いを避ける	5	0.7%
6 インターネット上の不当な書き込み	8	1.1%
7 身元調査や問い合わせ	4	0.6%
8 無回答	678	95.0%
合計	714	100%

○回答件数36件のうち、「3 差別発言」と「6 インターネット上の不当な書き込み」（いずれも8件）が多い。

○性別では、男女ともに「3 差別発言」が最も多い。女性は「6 インターネット上の不当な書き込み」（1.2%）も多くなっている。

選択項目	回答数	男	女	その他	答えたくない	無回答
1 結婚への反対	4	0.3%	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%
2 就職時や職場での不利な扱い	3	0.3%	0.5%	0.0%	0.0%	0.0%
3 差別発言	8	1.0%	1.2%	0.0%	0.0%	0.0%
4 差別落書きや差別投書	4	0.3%	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%
5 住民としての交流や付き合いを避ける	5	0.3%	1.0%	0.0%	0.0%	0.0%
6 インターネット上の不当な書き込み	8	0.7%	1.2%	0.0%	16.7%	0.0%
7 身元調査や問い合わせ	4	0.3%	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%
8 無回答	678	96.6%	93.8%	100.0%	83.3%	100.0%
合計	714	100%	100%	100%	100%	100%

○年齢階層別では、「3 差別発言」及び「4 差別落書きや差別投書」は10歳代が最も多い。

選択項目	回答数	16～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	無回答
1	4	4.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.2%	0.5%	0.0%
2	3	0.0%	0.0%	0.0%	0.9%	0.0%	0.6%	0.5%	0.0%
3	8	8.7%	0.0%	2.9%	1.8%	0.0%	0.6%	0.5%	0.0%
4	4	8.7%	0.0%	0.0%	0.9%	0.0%	0.6%	0.0%	0.0%
5	5	4.3%	0.0%	0.0%	0.9%	0.0%	0.6%	1.0%	0.0%
6	8	4.3%	3.6%	1.4%	0.9%	0.0%	1.9%	0.0%	10.0%
7	4	0.0%	3.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%	1.0%	0.0%
8	678	69.6%	92.9%	95.7%	94.7%	100.0%	93.8%	96.5%	90.0%
合計	714	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

問4-①-⑨ 刑を終えて出所した人

選択項目	回答数	構成比
1 結婚への反対	2	0.3%
2 就職時や職場での不利な扱い	5	0.7%
3 差別発言	7	1.0%
4 差別落書きや差別投書	2	0.3%
5 住民としての交流や付き合いを避ける	6	0.8%
6 インターネット上の不当な書き込み	14	2.0%
7 身元調査や問い合わせ	4	0.6%
8 無回答	677	94.4%
合計	717	100%

○回答件数40件のうち、「6 インターネット上の不当な書き込み」（14件）が最も多く、次いで「3 差別発言」（7件）となっている。

○ 性別では、男女ともに「6 インターネット上の不当な書き込み」が最も多い。

選択項目	回答数	男	女	その他	答えたくない	無回答
1 結婚への反対	2	0.0%	0.5%	0.0%	0.0%	0.0%
2 就職時や職場での不利な扱い	5	1.0%	0.5%	0.0%	0.0%	0.0%
3 差別発言	7	0.3%	1.2%	0.0%	16.7%	0.0%
4 差別落書きや差別投書	2	0.0%	0.5%	0.0%	0.0%	0.0%
5 住民としての交流や付き合いを避ける	6	1.0%	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%
6 インターネット上の不当な書き込み	14	2.0%	1.7%	0.0%	16.7%	0.0%
7 身元調査や問い合わせ	4	0.3%	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%
8 無回答	677	95.2%	94.1%	100.0%	66.7%	100.0%
合計	717	100%	100%	100%	100%	100%

○ 年齢階層別では、「6 インターネット上の不当な書き込み」は各年齢層において多く、中でも20歳代が最も多い。

選択項目	回答数	16～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	無回答
1	2	3.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%	0.0%	0.0%
2	5	7.7%	0.0%	0.0%	0.9%	0.0%	0.6%	0.5%	0.0%
3	7	7.7%	3.4%	0.0%	1.8%	0.0%	1.2%	0.0%	0.0%
4	2	3.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%	0.0%	0.0%
5	6	3.8%	0.0%	0.0%	1.8%	0.9%	0.6%	0.5%	0.0%
6	14	7.7%	10.3%	2.9%	1.8%	0.9%	1.8%	0.5%	0.0%
7	4	0.0%	3.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%	1.0%	0.0%
8	677	65.4%	82.8%	97.1%	93.8%	98.1%	93.9%	97.5%	100.0%
合計	717	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

問4-①-⑩ 犯罪被害者やその家族

選択項目	回答数	構成比
1 結婚への反対	2	0.3%
2 就職時や職場での不利な扱い	2	0.3%
3 差別発言	8	1.1%
4 差別落書きや差別投書	1	0.1%
5 住民としての交流や付き合いを避ける	3	0.4%
6 インターネット上の不当な書き込み	16	2.3%
7 身元調査や問い合わせ	4	0.6%
8 無回答	673	94.9%
合計	709	100%

○回答件数36件のうち、「6 インターネット上の不当な書き込み」（16件）が最も多く、次いで「3 差別発言」（8件）となっている。

○性別では、男女ともに「6 インターネット上の不当な書き込み」が最も多く、男性が2.6ポイント高い。

選択項目	回答数	男	女	その他	答えたくない	無回答
1 結婚への反対	2	0.0%	0.5%	0.0%	0.0%	0.0%
2 就職時や職場での不利な扱い	2	0.0%	0.5%	0.0%	0.0%	0.0%
3 差別発言	8	1.4%	1.0%	0.0%	0.0%	0.0%
4 差別落書きや差別投書	1	0.0%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%
5 住民としての交流や付き合いを避ける	3	0.0%	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%
6 インターネット上の不当な書き込み	16	3.8%	1.2%	0.0%	0.0%	0.0%
7 身元調査や問い合わせ	4	0.3%	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%
8 無回答	673	94.5%	95.0%	100.0%	100.0%	100.0%
合計	709	100%	100%	100%	100%	100%

○年齢階層別では、「3 差別発言」は10歳代が最も多く、「6 インターネット上の不当な書き込み」は20歳代～60歳代において最も多い。

選択項目	回答数	16～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	無回答
1	2	4.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%	0.0%	0.0%
2	2	4.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%	0.0%	0.0%
3	8	9.1%	0.0%	1.4%	1.8%	0.0%	1.2%	0.5%	0.0%
4	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%	0.0%	0.0%
5	3	4.5%	0.0%	0.0%	0.9%	0.0%	0.6%	0.0%	0.0%
6	16	0.0%	7.1%	4.3%	3.6%	1.9%	2.5%	0.5%	0.0%
7	4	0.0%	3.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%	1.0%	0.0%
8	673	77.3%	89.3%	94.2%	93.8%	98.1%	93.2%	98.0%	100.0%
合計	709	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

問4-①-⑪ 性的マイノリティ (LGBTQ+)

選択項目	回答数	構成比
1 結婚への反対	5	0.7%
2 就職時や職場での不利な扱い	5	0.7%
3 差別発言	14	2.0%
4 差別落書きや差別投書	3	0.4%
5 住民としての交流や付き合いを避ける	2	0.3%
6 インターネット上の不当な書き込み	21	2.9%
7 身元調査や問い合わせ	3	0.4%
8 無回答	664	92.6%
合計	717	100%

○回答件数53件のうち、「6 インターネット上の不当な書き込み」(21件)が最も多く、次いで「3 差別発言」(14件)となっている。

○性別では、男女ともに「6 インターネット上の不当な書き込み」が最も多く、男性が1.2ポイント高い。次いで「3 差別発言」(いずれも2.0%)が多い。

選択項目	回答数	男	女	その他	答えたくない	無回答
1 結婚への反対	5	1.0%	0.5%		0.0%	
2 就職時や職場での不利な扱い	5	0.7%	0.5%		20.0%	
3 差別発言	14	2.0%	2.0%		0.0%	
4 差別落書きや差別投書	3	0.7%	0.2%		0.0%	
5 住民としての交流や付き合いを避ける	2	0.0%	0.5%		0.0%	
6 インターネット上の不当な書き込み	21	3.7%	2.5%		0.0%	
7 身元調査や問い合わせ	3	0.3%	0.5%		0.0%	
8 無回答	664	91.6%	93.3%	100.0%	80.0%	100.0%
合計	717	100%	100%	100%	100%	100%

○年齢階層別では、各年齢層において「6 インターネット上の不当な書き込み」が多く、中でも20歳代が最も高い。50歳代は「3 差別発言」が最も多い。

選択項目	回答数	16~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	無回答
1	5	4.2%	0.0%	2.7%	0.0%	0.0%	0.6%	0.5%	0.0%
2	5	4.2%	3.4%	1.4%	0.0%	0.0%	1.2%	0.0%	0.0%
3	14	8.3%	3.4%	2.7%	1.8%	3.7%	1.2%	0.5%	0.0%
4	3	4.2%	0.0%	1.4%	0.0%	0.0%	0.6%	0.0%	0.0%
5	2	0.0%	0.0%	0.0%	0.9%	0.0%	0.6%	0.0%	0.0%
6	21	8.3%	13.8%	8.1%	3.6%	0.9%	1.9%	0.5%	0.0%
7	3	0.0%	3.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%	0.5%	0.0%
8	664	70.8%	75.9%	83.8%	93.8%	95.4%	93.2%	98.0%	100.0%
合計	717	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

問4-② 質問4-①で、あなたが直接見聞きしたとき、あなたはどのように対応しましたか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

選択項目	回答数	構成比
1 相手に直接抗議した	27	3.9%
2 市役所等の相談機関に連絡した（相談した）	3	0.4%
3 問題だと思ったが、何もしなかった	83	11.9%
4 見過ごした	26	3.7%
5 その他	37	5.3%
6 無回答	521	74.7%
合計	697	100%

○回答件数176件のうち、「3 問題だと思ったが、何もしなかった」が約47%を占めており、「1 相手に直接抗議した」及び「2 市役所等の相談機関に連絡した」合計は約17%となっている。

○性別では、男女ともに「3 問題だと思ったが、何もしなかった」が最も多く、男性が7.5ポイント高い。

選択項目	回答数	男	女	その他	答えたくない	無回答
1 相手に直接抗議した	27	4.8%	3.1%	0.0%	20.0%	0.0%
2 市役所等の相談機関に連絡した（相談した）	3	0.0%	0.8%	0.0%	0.0%	0.0%
3 問題だと思ったが、何もしなかった	83	16.2%	8.7%	0.0%	40.0%	0.0%
4 見過ごした	26	2.8%	4.3%	0.0%	0.0%	10.0%
5 その他	37	7.6%	3.6%	0.0%	0.0%	10.0%
6 無回答	521	68.6%	79.5%	100.0%	40.0%	80.0%
合計	697	100%	100%	100%	100%	100%

○年齢階層別では、10歳代及び50歳代を除く年齢層で「3 問題だと思ったが、何もしなかった」が最も多く、中でも20歳代が最も高い。

選択項目	回答数	16～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	無回答
1	27	5.3%	0.0%	5.8%	4.6%	3.7%	4.5%	3.0%	0.0%
2	3	0.0%	0.0%	1.4%	0.9%	0.0%	0.0%	0.5%	0.0%
3	83	0.0%	25.0%	14.5%	11.9%	4.6%	12.8%	14.1%	0.0%
4	26	5.3%	14.3%	2.9%	2.8%	1.9%	1.9%	5.1%	10.0%
5	37	10.5%	3.6%	1.4%	6.4%	9.3%	4.5%	4.0%	10.0%
6	521	78.9%	57.1%	73.9%	73.4%	80.6%	76.3%	73.2%	80.0%
合計	697	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

問5-① 本籍、出生、家庭環境、国籍、資産等を本人に了承を得ないで調べることを身元調査と言います。この身元調査についてあなたはどのように思いますか。あなたの考えに近いもの一つに○をつけてください。

選択項目	合計（人）	構成比
1 するべきではない	309	44.3%
2 どちらかといえばするべきではない	220	31.6%
3 どちらかといえば必要だ	57	8.2%
4 当然必要だ	11	1.6%
5 わからない	80	11.5%
6 無回答	20	2.9%
合計	697	100%

○「1 するべきではない」及び「2 どちらかといえばするべきではない」合計は約75.9%であり、「3 どちらかといえば必要だ」又は「4 当然必要だ」合計は約9.8%となっている。

○ 性別では、男女ともに「1 するべきではない」、「2 どちらかといえばするべきではない」が多い。

選択項目	合計（人）	男	女	その他	答えたくない	無回答
1 するべきではない	309	45.5%	44.0%	0.0%	40.0%	30.0%
2 どちらかといえばするべきではない	220	27.9%	34.0%	0.0%	40.0%	40.0%
3 どちらかといえば必要だ	57	10.0%	6.9%	0.0%	0.0%	10.0%
4 当然必要だ	11	2.4%	0.8%	0.0%	0.0%	10.0%
5 わからない	80	12.4%	10.5%	100.0%	20.0%	10.0%
6 無回答	20	1.7%	3.8%	0.0%	0.0%	0.0%
合計	697	100%	100%	100%	100%	100%

○ 年齢階層別では、10歳代を除く年齢層で「1 するべきではない」が最も高く、「2 どちらかといえばするべきではない」を合わせると50歳代が8割以上と最も高い。「3 どちらかといえば必要だ」又は「4 当然必要だ」は10歳代及び20歳代が高い。

選択項目	合計（人）	16～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	無回答
1	309	21.1%	39.3%	36.2%	48.6%	53.7%	44.2%	43.4%	30.0%
2	220	31.6%	21.4%	29.0%	29.4%	28.7%	35.3%	33.3%	40.0%
3	57	15.8%	17.9%	10.1%	5.5%	4.6%	7.7%	9.6%	0.0%
4	11	0.0%	3.6%	0.0%	0.9%	1.9%	1.3%	1.5%	20.0%
5	80	26.3%	14.3%	23.2%	13.8%	9.3%	9.0%	7.6%	10.0%
6	20	5.3%	3.6%	1.4%	1.8%	1.9%	2.6%	4.5%	0.0%
合計	697	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

問5-② 本市では、住民票の写し等を代理人等に交付した場合に登録者にお知らせする制度として「本人通知制度」を実施しています。あなたの状況について、あてはまるもの一つに○をつけてください。

選択項目	合計（人）	構成比
1 制度を知っているし、登録している	31	4.4%
2 制度を知っているが、登録していない	146	20.9%
3 制度を知らない	506	72.6%
4 無回答	14	2.0%
合計	697	100%

○「3 制度を知らない」（72.6%）が最も多く、「1 制度を知っているし、登録している」はわずか4.4%となっている。

○ 性別では、男女ともに「3 制度を知らない」が最も多く、女性が3.9ポイント高い。

選択項目	合計（人）	男	女	その他	答えたくない	無回答
1 制度を知っているし、登録している	31	6.2%	3.3%	0.0%	0.0%	0.0%
2 制度を知っているが、登録していない	146	22.4%	19.7%	0.0%	20.0%	30.0%
3 制度を知らない	506	70.3%	74.2%	100.0%	80.0%	70.0%
4 無回答	14	1.0%	2.8%	0.0%	0.0%	0.0%
合計	697	100%	100%	100%	100%	100%

○ 年齢階層別では、全年齢層において「3 制度を知らない」が最も多く、「1 制度を知っているし、登録している」は10歳代及び20歳代において多い。

選択項目	合計（人）	16～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	無回答
1	31	10.5%	7.1%	4.3%	4.6%	3.7%	4.5%	4.0%	0.0%
2	146	10.5%	21.4%	15.9%	22.9%	14.8%	25.6%	22.2%	20.0%
3	506	73.7%	64.3%	78.3%	71.6%	79.6%	69.2%	70.7%	80.0%
4	14	5.3%	7.1%	1.4%	0.9%	1.9%	0.6%	3.0%	0.0%
合計	697	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

問6-① あなたは同和問題（部落差別）※10について、どの程度知っていますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

選択項目	合計（人）	構成比
1 同和地区（被差別部落）の起源や歴史、部落差別の現実（就職・結婚差別、差別発言・落書き、インターネット上の書き込み等）について、ある程度知っている	251	36.0%
2 同和地区（被差別部落）の起源や歴史、部落差別の現実について、少し知っている	171	24.5%
3 同和問題（部落差別）があることは知っている	240	34.4%
4 聞いたことがない	18	2.6%
5 その他	7	1.0%
6 無回答	10	1.4%
合計	697	100%

○「1 同和地区（被差別部落）の起源や歴史、部落差別の現実（就職・結婚差別、差別発言・落書き、インターネット上の書き込み等）について、ある程度知っている」（36.0%）が最も多く、「4 聞いたことがない」は2.6%となっている。

○ 性別では、男性は「1 同和地区（被差別部落）の起源や歴史、部落差別の現実（就職・結婚差別、差別発言・落書き、インターネット上の書き込み等）について、ある程度知っている」（37.9%）が最も多く、女性は「3 同和問題（部落差別）があることは知っている」（36.1%）が最も多い。「4 聞いたことがない」は、男性が1.6ポイント高い。

選択項目	合計（人）	男	女	その他	答えたくない	無回答
1 同和地区（被差別部落）の起源や歴史、部落差別の現実（就職・結婚差別、差別発言・落書き、インターネット上の書き込み等）について、ある程度知っている	251	37.9%	35.3%	0.0%	0.0%	30.0%
2 同和地区（被差別部落）の起源や歴史、部落差別の現実について、少し知っている	171	24.1%	24.8%	0.0%	20.0%	30.0%
3 同和問題（部落差別）があることは知っている	240	31.7%	36.1%	0.0%	80.0%	30.0%
4 聞いたことがない	18	3.4%	1.8%	100.0%	0.0%	0.0%
5 その他	7	1.4%	0.8%	0.0%	0.0%	0.0%
6 無回答	10	1.4%	1.3%	0.0%	0.0%	10.0%
合計	697	100%	100%	100%	100%	100%

○ 年齢階層別では、「1 ある程度知っている」は10歳代が最も多く半数以上となっている。

選択項目	合計（人）	16～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	無回答
1	251	57.9%	21.4%	30.4%	33.9%	46.3%	42.9%	28.8%	20.0%
2	171	21.1%	25.0%	17.4%	22.0%	18.5%	26.9%	29.8%	30.0%
3	240	15.8%	39.3%	43.5%	39.4%	33.3%	28.2%	34.8%	40.0%
4	18	5.3%	7.1%	5.8%	4.6%	1.9%	0.0%	2.0%	0.0%
5	7	0.0%	3.6%	2.9%	0.0%	0.0%	0.0%	2.0%	0.0%
6	10	0.0%	3.6%	0.0%	0.0%	0.0%	1.9%	2.5%	10.0%
合計	697	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

【問6-①（同和問題の認識）と問24-①（学習会等への参加回数）との関連】

○ 学習会等への参加回数が増えるにしたがって、「1 同和地区（被差別部落）の起源や歴史、部落差別の現実（就職・結婚差別、差別発言・落書き、インターネット上の書き込み等）について、ある程度知っている」とする割合は増え、「3 同和問題（部落差別）があることは知っている」及び「4 聞いたことがない」とする割合は減少している。

選択項目	合計（人）	10回以上参加した	5～9回参加した	1～4回参加した	参加したことがない	無回答
1 同和地区（被差別部落）の起源や歴史、部落差別の現実（就職・結婚差別、差別発言・落書き、インターネット上の書き込み等）について、ある程度知っている	251	80.0%	52.4%	39.3%	24.9%	25.0%
2 同和地区（被差別部落）の起源や歴史、部落差別の現実について、少し知っている	171	12.0%	25.6%	23.2%	27.3%	8.3%
3 同和問題（部落差別）があることは知っている	240	8.0%	20.7%	34.0%	40.3%	50.0%
4 聞いたことがない	18	0.0%	0.0%	1.4%	4.4%	8.3%
5 その他	7	0.0%	1.2%	0.4%	1.7%	0.0%
6 無回答	10	0.0%	0.0%	1.8%	1.4%	8.3%
合計	697	100%	100%	100%	100%	100%

問6-② 部落差別の現状について、あなたはどのように考えていますか。次の中から最もあなたの考えに近いもの一つに○をつけてください。

選択項目	合計（人）	構成比
1 同和地区の生活環境や就労・教育面の格差は解消され、同和地区の人々に対する差別意識は解消されている	145	20.8%
2 同和地区の生活環境や就労・教育面の格差は解消したが、同和地区の人々に対する差別意識は解消されていない	174	25.0%
3 同和地区の生活環境はおおむね改善されたが、就労面や教育面などの格差や同和地区の人々に対する差別意識などは解消されていない	110	15.8%
4 今なお多くの場面で格差や差別意識が現存している	66	9.5%
5 もともと格差や差別は存在しない	16	2.3%
6 わからない	154	22.1%
7 その他	21	3.0%
8 無回答	11	1.6%
合計	697	100%

○ 「2 同和地区の生活環境や就労・教育面の格差は解消したが、同和地区の人々に対する差別意識は解消されていない」（25.0%）が最も多く、次いで「6 わからない」（22.1%）、「1 同和地区の生活環境や就労・教育面の格差は解消され、同和地区の人々に対する差別意識は解消されている」は20.8%となっている。

○ 性別では、男性は、「1 同和地区の生活環境や就労・教育面の格差は解消され、同和地区の人々に対する差別意識は解消されている」（24.1%）が最も多く、女性は、「2 同和地区の生活環境や就労・教育面の格差は解消したが、同和地区の人々に対する差別意識は解消されていない」（28.5%）が最も多い。

選択項目	合計（人）	男	女	その他	答えたくない	無回答
1 同和地区の生活環境や就労・教育面の格差は解消され、同和地区の人々に対する差別意識は解消されている	145	24.1%	19.8%	0.0%	20.0%	33.3%
2 同和地区の生活環境や就労・教育面の格差は解消したが、同和地区の人々に対する差別意識は解消されていない	174	23.8%	28.5%	0.0%	0.0%	22.2%
3 同和地区の生活環境はおおむね改善されたが、就労面や教育面などの格差や同和地区の人々に対する差別意識などは解消されていない	110	16.7%	16.6%	0.0%	0.0%	22.2%
4 今なお多くの場面で格差や差別意識が現存している	66	9.6%	10.1%	100.0%	20.0%	0.0%
5 もともと格差や差別は存在しない	16	2.8%	1.9%	0.0%	20.0%	0.0%
6 わからない	154	23.0%	23.1%	0.0%	40.0%	22.2%
7 その他	21	1.8%	4.3%	0.0%	0.0%	0.0%
8 無回答	11	1.1%	1.9%	0.0%	0.0%	11.1%
合計	697	103%	106%	100%	100%	111%

○ 年齢階層別では、10歳代～40歳代は「7 わからない」が最も多く、50歳代以上は、「2 同和地区の生活環境や就労・教育面の格差は解消したが、同和地区の人々に対する差別意識は解消されていない」が最も多い。10歳代は「3 同和地区の生活環境はおおむね改善されたが、就労面や教育面などの格差や同和地区の人々に対する差別意識などは解消されていない」が高くなっている。

選択項目	合計（人）	16～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	無回答
1	145	10.5%	14.3%	24.6%	20.2%	22.2%	18.6%	22.2%	30.0%
2	174	15.8%	17.9%	11.6%	22.9%	28.7%	28.2%	28.8%	10.0%
3	110	26.3%	14.3%	11.6%	11.9%	17.6%	21.8%	12.6%	20.0%
4	66	21.1%	17.9%	10.1%	11.0%	9.3%	9.0%	7.1%	0.0%
5	16	0.0%	3.6%	2.9%	1.8%	1.9%	1.3%	3.5%	0.0%
6	154	26.3%	21.4%	36.2%	28.4%	17.6%	15.4%	20.7%	30.0%
7	21	0.0%	7.1%	2.9%	3.7%	2.8%	3.8%	2.0%	0.0%
8	11	0.0%	3.6%	0.0%	0.0%	0.0%	1.9%	3.0%	10.0%
合計	697	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

【問6-②（部落差別の現状に対する考え）と問24-①（学習会等への参加回数）との関連】

○ 部落差別の現状について、「2 同和地区の生活環境や就労・教育面の格差は解消したが、同和地区の人々に対する差別意識は解消されていない」、「3 同和地区の生活環境はおおむね改善されたが、就労面や教育面などの格差や同和地区の人々に対する差別意識などは解消されていない」、「4 今なお多くの場面で格差や差別意識が現存している」と考える人は、学習会等への参加回数が増えるにしたがい回答の割合が高くなっている。一方で、「5 もともと格差や差別は存在しない」、「5 わからない」は、研修会等への参加回数が増えるにしたがい回答の割合が低くなる傾向にある。また、「1 同和地区の生活環境や就労・教育面の格差は解消され、同和地区の人々に対する差別意識は解消されている」と回答した人は、「1～4回参加した」（23.9%）が「10回以上参加した」では4.0%と減少している。

選択項目	合計(人)	10回以上参加した	5～9回参加した	1～4回参加した	参加したことがない	無回答
1 同和地区の生活環境や就労・教育面の格差は解消され、同和地区の人々に対する差別意識は解消されている	145	4.0%	18.3%	23.9%	20.1%	16.7%
2 同和地区の生活環境や就労・教育面の格差は解消したが、同和地区の人々に対する差別意識は解消されていない	174	40.0%	32.9%	25.6%	20.5%	33.3%
3 同和地区の生活環境はおおむね改善されたが、就労面や教育面などの格差や同和地区の人々に対する差別意識などは解消されていない	110	36.0%	18.3%	17.2%	11.9%	16.7%
4 今なお多くの場面で格差や差別意識が現存している	66	12.0%	11.0%	10.2%	8.5%	0.0%
5 もともと格差や差別は存在しない	16	0.0%	1.2%	0.7%	4.1%	8.3%
6 わからない	154	4.0%	12.2%	17.9%	31.1%	8.3%
7 その他	21	0.0%	6.1%	3.2%	2.0%	8.3%
8 無回答	11	4.0%	0.0%	1.4%	1.7%	8.3%
合計	697	100%	100%	100%	100%	100%

問7 同和問題とあなた自身とのかかわりについて、あなたの考えをお聞きします。次の中から最もあなたの考えに近いもの一つに○をつけてください。

選択項目	合計(人)	構成比
1 自分自身の問題としてその解決のために努力したいと思う	92	13.2%
2 同和地区の人々の気持ちや立場をもっと理解したいと思う	173	24.8%
3 自分自身の問題としてとらえられず、同和問題の解決には消極的だと思う	172	24.7%
4 立場上取り組んでいるだけだと思う	49	7.0%
5 自分は差別意識を持っていないので、自分には関係ない問題だと思う	115	16.5%
6 同和問題は同和地区の人たちの問題だから、自分とは関係ない問題だと思う	14	2.0%
7 その他	50	7.2%
8 無回答	32	4.6%
合計	697	100%

○「2 同和地区の人々の気持ちや立場をもっと理解したいと思う」(24.8%)と「3 自分自身の問題としてとらえられず、同和問題の解決には消極的だと思う」(24.7%)が高く、次いで「5 自分は差別意識を持っていないので、自分には関係ない問題だと思う」(16.5%)となっている。

○ 性別では、男女ともに「2 同和地区の人々の気持ちや立場をもっと理解したいと思う」及び「3 自分自身の問題としてとらえられず、同和問題の解決には消極的だと思う」が高くなっている。「5 自分は差別意識を持っていないので、自分には関係ない問題だと思う」及び「6 同和問題は同和地区の人たちの問題だから、自分とは関係ない問題だと思う」合計は、男性が7.7ポイント高い。

選択項目	合計(人)	男	女	その他	答えたくない	無回答
1 自分自身の問題としてその解決のために努力したいと思う	92	13.1%	13.0%	100.0%	20.0%	10.0%
2 同和地区の人々の気持ちや立場をもっと理解したいと思う	173	23.1%	26.6%	0.0%	20.0%	10.0%
3 自分自身の問題としてとらえられず、同和問題の解決には消極的だと思う	172	22.8%	26.6%	0.0%	20.0%	10.0%
4 立場上取り組んでいるだけだと思う	49	9.0%	5.4%	0.0%	0.0%	20.0%
5 自分は差別意識を持っていないので、自分には関係ない問題だと思う	115	20.7%	13.3%	0.0%	40.0%	10.0%
6 同和問題は同和地区の人たちの問題だから、自分とは関係ない問題だと思う	14	2.1%	1.8%	0.0%	0.0%	10.0%
7 その他	50	6.2%	7.9%	0.0%	0.0%	10.0%
8 無回答	32	3.1%	5.4%	0.0%	0.0%	20.0%
合計	697	100%	100%	100%	100%	100%

○ 年齢階層別では、「2 同和地区の人々の気持ちや立場をもっと理解したいと思う」は10歳代が6割以上と非常に高く、「5 自分は差別意識を持っていないので、自分には関係ない問題だと思う」は30歳代が最も高い。

選択項目	合計（人）	16～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	無回答
1	92	21.1%	14.3%	7.2%	10.1%	14.8%	15.4%	13.6%	10.0%
2	173	63.2%	32.1%	21.7%	23.9%	38.0%	19.9%	19.2%	10.0%
3	172	0.0%	28.6%	15.9%	26.6%	20.4%	30.1%	27.3%	10.0%
4	49	5.3%	3.6%	7.2%	11.0%	4.6%	7.7%	6.6%	0.0%
5	115	0.0%	10.7%	27.5%	19.3%	11.1%	14.1%	17.7%	30.0%
6	14	10.5%	3.6%	4.3%	0.0%	0.9%	1.3%	2.0%	10.0%
7	50	0.0%	3.6%	14.5%	8.3%	5.6%	6.4%	6.6%	10.0%
8	32	0.0%	3.6%	1.4%	0.9%	4.6%	5.1%	7.1%	20.0%
合計	697	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

【問7（同和問題と自分のかかわり）と問24-①（学習会等への参加回数）との関連】

○ 「1 自分自身の問題としてその解決のために努力したいと思う」、「2 同和地区の人々の気持ちや立場をもっと理解したいと思う」とする回答は、学習会等への参加回数が多いほど回答の割合が高い傾向にある。「5 自分は差別意識を持っていないので、自分には関係ない問題だと思う」、「6 同和問題は同和地区の人たちの問題だから、自分とは関係ない問題だと思う」とする回答は、学習会等に参加した回数が少ないほど回答の割合が高い傾向にある。

選択項目	合計（人）	10回以上参加した	5～9回参加した	1～4回参加した	参加したことがない	無回答
1 自分自身の問題としてその解決のために努力したいと思う	92	24.0%	24.4%	14.4%	8.2%	8.3%
2 同和地区の人々の気持ちや立場をもっと理解したいと思う	173	44.0%	40.2%	24.2%	20.1%	8.3%
3 自分自身の問題としてとらえられず、同和問題の解決には消極的だと思う	172	12.0%	14.6%	24.9%	28.0%	33.3%
4 立場上取り組んでいるだけだと思う	49	4.0%	6.1%	8.1%	6.5%	8.3%
5 自分は差別意識を持っていないので、自分には関係ない問題だと思う	115	8.0%	7.3%	12.3%	23.5%	25.0%
6 同和問題は同和地区の人たちの問題だから、自分とは関係ない問題だと思う	14	0.0%	0.0%	1.4%	3.4%	0.0%
7 その他	50	8.0%	6.1%	9.8%	5.1%	0.0%
8 無回答	32	0.0%	1.2%	4.9%	5.1%	16.7%
合計	697	100%	100%	100%	100%	100%

問8 あなたの周りや親しい人との間で、同和地区の人々に対する差別的な発言や行為を直接見聞きした場合どうしますか。次の中からあてはまるもの一つに○をつけてください。

選択項目	合計（人）	構成比
1 差別的な発言や行動をした人の考え（間違い）を正すように努力する	146	20.9%
2 一応間違いは指摘するが、あまり深入りしないようにする	313	44.9%
3 気まづくならないよう、そのままにしておく	114	16.4%
4 身近な人や関係機関に相談する	67	9.6%
5 その他	28	4.0%
6 無回答	29	4.2%
合計	697	100%

○「2 一応間違いは指摘するが、あまり深入りしないようにする」が44.9%と最も高い。次いで「1 差別的な発言や行動をした人の考え（間違い）を正すように努力する」（20.9%）、「3 気まづくならないよう、そのままにしておく」（16.4%）の順に高い。

○ 性別では、男女ともに「2 一応間違いは指摘するが、あまり深入りしないようにする」が最も高く、次いで「1 差別的な発言や行動をした人の考え（間違い）を正すように努力する」が高くなっている。「4 身近な人や関係機関に相談する」は女性が5.4ポイント高い。

選択項目	合計（人）	男	女	その他	答えたくない	無回答
1 差別的な発言や行動をした人の考え（間違い）を正すように努力する	146	22.8%	19.4%	100.0%	0.0%	30.0%
2 一応間違いは指摘するが、あまり深入りしない	313	45.9%	44.2%	0.0%	60.0%	40.0%
3 気まずくならないよう、そのままにしておく	114	17.9%	15.6%	0.0%	20.0%	0.0%
4 身近な人や関係機関に相談する	67	6.6%	12.0%	0.0%	0.0%	10.0%
5 その他	28	3.4%	4.1%	0.0%	20.0%	10.0%
6 無回答	29	3.4%	4.6%	0.0%	0.0%	10.0%
合計	697	100%	100%	100%	100%	100%

○ 年齢階層別では、10歳代を除く年齢層で「2 一応間違いは指摘するが、あまり深入りしないようにする」が最も高く、30歳代及び40歳代は5割以上となっている。10歳代は「1 差別的な発言や行動をした人の考え（間違い）を正すように努力する」（42.1%）が最も高い。

選択項目	合計（人）	16～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	無回答
1	146	42.1%	17.9%	17.4%	20.2%	31.5%	17.3%	18.2%	20.0%
2	313	36.8%	46.4%	50.7%	58.7%	37.0%	46.2%	38.9%	50.0%
3	114	5.3%	17.9%	17.4%	9.2%	13.9%	16.7%	22.7%	0.0%
4	67	10.5%	10.7%	7.2%	7.3%	12.0%	14.7%	6.1%	10.0%
5	28	5.3%	3.6%	5.8%	3.7%	4.6%	3.2%	3.5%	10.0%
6	29	0.0%	3.6%	1.4%	0.9%	0.9%	1.9%	10.6%	10.0%
合計	697	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

【問8（部落差別を見聞きした時の対応）と問24-①（学習会等への参加回数）との関連】

○ 学習会等への参加回数が増えるにしたがって、「1 差別的な発言や行動をした人の考え（間違い）を正すように努力する」と回答する割合は増えている。「2 一応間違いは指摘するが、あまり深入りしないようにする」、「3 気まずくならないよう、そのままにしておく」は学習会等へ参加したことがないと回答した人の割合が最も高くなっている。また、10回以上参加した人は「4 身近な人や関係機関に相談する」と回答した割合が最も高くなっている。

選択項目	合計（人）	10回以上参加した	5～9回参加した	1～4回参加した	参加したことがない	無回答
1 差別的な発言や行動をした人の考え（間違い）を正すように努力する	146	44.0%	32.9%	23.2%	14.0%	8.3%
2 一応間違いは指摘するが、あまり深入りしないようにする	313	36.0%	46.3%	42.5%	47.4%	50.0%
3 気まずくならないよう、そのままにしておく	114	8.0%	7.3%	14.7%	21.2%	16.7%
4 身近な人や関係機関に相談する	67	12.0%	7.3%	10.2%	9.9%	0.0%
5 その他	28	0.0%	2.4%	4.9%	3.8%	8.3%
6 無回答	29	0.0%	3.7%	4.6%	3.8%	16.7%
合計	697	100.0%	99.9%	100.1%	100.1%	100.0%

問9 あなたやあなたの子どもが同和地区出身の人と結婚しようとする場合、あなたはどのように対応しますか。次の中からあてはまるもの一つに○をつけてください。

選択項目	合計（人）	構成比
1 同和地区の人であるかないかは関係ない	375	53.8%
2 ややこだわりがあるが、仕方がない	130	18.7%
3 家族や親戚の反対があれば、結婚はしない（認めない）	26	3.7%
4 結婚はしない（認めない）	12	1.7%
5 わからない	130	18.7%
6 その他	6	0.9%
7 無回答	18	2.6%
合計	697	98%

○ 「1 同和地区の人であるかないかは関係ない」が半数以上と最も高く、次いで「2 ややこだわりがあるが、仕方がない」及び「5 わからない」（いずれも18.7%）となっている。「3 家族や親戚の反対があれば、結婚しない（認めない）」及び「4 結婚はしない（認めない）」は全体の約5.4%となっている。

○ 性別では、男女ともに「1 同和地区の人であるかないかは関係ない」が半数以上と最も高い。「3 家族や親戚の反対があれば、結婚はしない（認めない）」は男性が1.4ポイント高く、「4 結婚はしない（認めない）」は女性が1.3ポイント高い。

選択項目	合計（人）	男	女	その他	答えたくない	無回答
1 同和地区の人であるかないかは関係ない	375	53.8%	53.7%	100.0%	60.0%	50.0%
2 ややこだわりがあるが、仕方がない	130	17.9%	19.2%	0.0%	0.0%	30.0%
3 家族や親戚の反対があれば、結婚はしない（認めない）	26	4.5%	3.1%	0.0%	20.0%	0.0%
4 結婚はしない（認めない）	12	1.0%	2.3%	0.0%	0.0%	0.0%
5 わからない	130	19.0%	18.7%	0.0%	20.0%	10.0%
6 その他	6	1.0%	0.8%	0.0%	0.0%	0.0%
7 無回答	18	2.8%	2.3%	0.0%	0.0%	10.0%
合計	697	100%	100%	100%	100%	100%

○ 年齢階層別では、全年齢層で「1 同和地区の人であるかないかは関係ない」が最も高い。次いで、60歳代及び70歳代において「2 ややこだわりがあるが、仕方がない」が高く、その他の年齢層では「6 わからない」が高くなっている。

選択項目	合計（人）	16～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	無回答
1	375	73.7%	60.7%	71.0%	67.9%	60.2%	46.8%	39.4%	50.0%
2	130	5.3%	3.6%	5.8%	7.3%	15.7%	26.9%	27.3%	30.0%
3	26	0.0%	7.1%	0.0%	0.9%	5.6%	5.1%	4.5%	0.0%
4	12	0.0%	0.0%	1.4%	0.9%	1.9%	1.9%	2.5%	0.0%
5	130	21.1%	21.4%	21.7%	22.0%	16.7%	14.1%	20.2%	10.0%
6	6	0.0%	3.6%	0.0%	0.9%	0.0%	1.3%	1.0%	0.0%
7	18	0.0%	3.6%	0.0%	0.0%	0.0%	3.8%	5.1%	10.0%
合計	697	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

【問9（同和地区出身者との結婚）と問6-①（同和問題の認識）との関連】

○ 同和問題について「1 同和地区（被差別部落）の起源や歴史、部落差別の現実（就職・結婚差別、差別発言・落書き、インターネット上の書き込み等）について、ある程度知っている」と回答した人は、同和地区出身者との結婚について「1 同和地区の人であるかないかは関係ない」との回答が62.9%と最も高い。

選択項目	合計（人）	1 ある程度知っている	2 少し知っている	3 あることは知っている	4 聞いたことがない	5 その他	6 無回答
1 同和地区の人であるかないかは関係ない	375	62.9%	49.1%	49.6%	55.6%	57.1%	0.0%
2 ややこだわりがあるが、仕方がない	130	19.5%	21.1%	18.3%	0.0%	0.0%	50.0%
3 家族や親戚の反対があれば、結婚はしない（認めない）	26	2.0%	6.4%	3.8%	0.0%	14.3%	0.0%
4 結婚はしない（認めない）	12	2.0%	2.3%	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%
5 わからない	130	11.2%	18.7%	25.0%	38.9%	28.6%	50.0%
6 その他	6	1.2%	0.6%	0.8%	0.0%	0.0%	0.0%
7 無回答	18	1.2%	1.8%	1.3%	5.6%	0.0%	0.0%
合計	697	100%	100%	100%	100%	100%	100%

【問9（同和地区出身者との結婚）と問24-①（学習会等への参加回数）との関連】

選択項目	合計（人）	10回以上参加した	5～9回参加した	1～4回参加した	参加したことがない	無回答
1 同和地区の人であるかないかは関係ない	375	68.0%	64.6%	56.8%	46.8%	50.0%
2 ややこだわりがあるが、仕方がない	130	16.0%	20.7%	19.3%	17.7%	16.7%
3 家族や親戚の反対があれば、結婚はしない（認めない）	26	4.0%	1.2%	3.9%	4.4%	0.0%
4 結婚はしない（認めない）	12	4.0%	0.0%	1.4%	2.4%	0.0%
5 わからない	130	8.0%	11.0%	15.4%	25.3%	8.3%
6 その他	6	0.0%	2.4%	1.1%	0.3%	0.0%
7 無回答	18	0.0%	0.0%	2.1%	3.1%	25.0%
合計	697	100%	100%	100%	100%	100%

○ 学習会等への参加回数が増えるにしたがい、「1 同和地区の人であるかないかは関係ない」と回答する割合が最も高くなっている。

問10 あなたが住宅を建築する場合に、同和地区に建築することを避けますか。次の中からあてはまるもの一つに○をつけてください。

選択項目	合計（人）	構成比
1 避ける	140	20.1%
2 こだわらない	248	35.6%
3 わからない	276	39.6%
4 その他	22	3.2%
5 無回答	11	1.6%
合計	697	99%

○ 「3 わからない」（39.6%）が最も多く、次いで「2 こだわらない」（35.6%）、「1 避ける」（20.1%）となっている。

- 性別では、男性は「2 こだわらない」（37.6%）が最も高く、女性は「3 わからない」（42.5%）が最も高い。

選択項目	合計（人）	男	女	その他	答えたくない	無回答
1 避ける	140	20.0%	19.9%	0.0%	20.0%	30.0%
2 こだわらない	248	37.6%	33.8%	100.0%	40.0%	40.0%
3 わからない	276	36.2%	42.5%	0.0%	40.0%	30.0%
4 その他	22	3.4%	3.1%	0.0%	0.0%	0.0%
5 無回答	11	2.8%	0.8%	0.0%	0.0%	0.0%
合計	697	100%	100%	100%	100%	100%

- 年齢階層別では、若年層において「2 こだわらない」と回答する割合が高くなっている。

選択項目	合計（人）	16～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	無回答
1 避ける	140	0.0%	3.6%	8.7%	16.5%	16.7%	25.0%	27.8%	30.0%
2 こだわらない	248	78.9%	50.0%	55.1%	32.1%	43.5%	32.1%	22.2%	50.0%
3 わからない	276	21.1%	39.3%	34.8%	47.7%	34.3%	41.0%	41.4%	20.0%
4 その他	22	0.0%	3.6%	1.4%	3.7%	4.6%	1.3%	4.5%	0.0%
5 無回答	11	0.0%	3.6%	0.0%	0.0%	0.9%	0.6%	4.0%	0.0%
合計	697	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

【問10（同和地区に住宅を建築）と問6-①（同和問題の認識）との関連】

- 「1 同和地区（被差別部落）の起源や歴史、部落差別の現実（就職・結婚差別、差別発言・落書き、インターネット上の書き込み等）について、ある程度知っている」と回答した人は、「2 こだわらない」とする割合が最も高い。

選択項目	合計（人）	1 避ける	2 こだわらない	3 わからない	4 その他	5 無回答
1 同和地区（被差別部落）の起源や歴史、部落差別の現実（就職・結婚差別、差別発言・落書き、インターネット上の書き込み等）について、ある程度知っている	251	29.3%	46.0%	28.6%	60.9%	30.0%
2 同和地区（被差別部落）の起源や歴史、部落差別の現実について、少し知っている	171	35.0%	20.2%	24.6%	8.7%	20.0%
3 同和問題（部落差別）があることは知っている	240	33.6%	29.0%	40.6%	21.7%	40.0%
4 聞いたことがない	18	0.7%	3.2%	3.3%	0.0%	0.0%
5 その他	7	0.7%	0.4%	1.1%	8.7%	0.0%
6 無回答	10	0.7%	1.2%	1.8%	0.0%	10.0%
合計	697	100%	100%	100%	100%	100%

【問10（同和地区に住宅を建築）と問24-①（学習会等への参加回数）との関連】

- 学習会等への参加回数が増えるにしたがい、住宅を同和地区に建築することを「2 こだわらない」と回答した割合が高くなり、「1 避ける」と回答した割合は低くなっている。

選択項目	合計（人）	10回以上参加した	5～9回参加した	1～4回参加した	参加したことがない	無回答
1 避ける	140	16.0%	17.1%	19.6%	21.8%	16.7%
2 こだわらない	248	48.0%	41.5%	38.6%	30.4%	25.0%
3 わからない	276	28.0%	40.2%	35.1%	44.7%	41.7%
4 その他	22	8.0%	0.0%	5.3%	1.7%	0.0%
5 無回答	11	0.0%	1.2%	1.4%	1.4%	16.7%
合計	697	100%	100%	100%	100%	100%

問11 障がいのある人の人権について現在の状況をどのように考えていますか。あなたの考えに近いものに○をつけてください。（○はいくつでも）

選択項目	回答数	構成比
1 福祉施策の充実などにより、人権はおおむね保障されている	117	7.7%
2 正しく理解され、人々の意識に差別や偏見はほとんどない	36	2.4%
3 人々の意識はかなり進んできたがまだまだ差別や偏見がある	435	28.7%
4 人々の意識に根強い差別や偏見がある	64	4.2%
5 「障がい」や「障がいのある人の生活上の不便さ」などに関する人々の認識が欠けている	260	17.1%
6 就労の機会が保障されていない	151	9.9%
7 教育の機会が保障されていない	51	3.4%
8 アパートの入居拒否など地域社会から疎外されている	39	2.6%
9 情報をわかりやすい形にして伝える配慮が足りない	108	7.1%
10 バリアフリー化、ユニバーサルデザインによる暮らしやすいまちづくりが進んでいない	167	11.0%
11 わからない	73	4.8%
12 その他	10	0.7%
13 無回答	7	0.5%
合計	1,518	100%

○ 「3 人々の意識はかなり進んできたがまだまだ差別や偏見がある」（28.7%）が最も高く、次いで「5 「障がい」や「障がいのある人の生活上の不便さ」などに関する人々の認識が欠けている」（17.1%）、「10 バリアフリー化、ユニバーサルデザインによる暮らしやすいまちづくりが進んでいない」（11.0%）の順に高くなっている。

○ 性別では、男女ともに「3 人々の意識はかなり進んできたがまだまだ差別や偏見がある」が最も高く、次いで「5 「障がい」や「障がいのある人の生活上の不便さ」などに関する人々の認識が欠けている」、「10 バリアフリー化、ユニバーサルデザインによる暮らしやすいまちづくりが進んでいない」となっている。

選択項目	回答数	男	女	その他	答えたくない	無回答
1 福祉施策の充実などにより、人権はおおむね保障されている	117	8.7%	6.7%	0.0%	28.6%	17.4%
2 正しく理解され、人々の意識に差別や偏見はほとんどない	36	3.1%	1.9%	0.0%	14.3%	0.0%
3 人々の意識はかなり進んできたがまだまだ差別や偏見がある	435	29.4%	28.3%	0.0%	28.6%	26.1%
4 人々の意識に根強い差別や偏見がある	64	3.8%	4.5%	0.0%	0.0%	4.3%
5 「障がい」や「障がいのある人の生活上の不便さ」などに関する人々の認識が欠けている	260	17.0%	17.6%	0.0%	0.0%	8.7%
6 就労の機会が保障されていない	151	8.6%	10.9%	0.0%	0.0%	8.7%
7 教育の機会が保障されていない	51	2.1%	4.2%	0.0%	0.0%	4.3%
8 アパートの入居拒否など地域社会から疎外されている	39	2.8%	2.4%	0.0%	0.0%	4.3%
9 情報をわかりやすい形にして伝える配慮が足りない	108	6.3%	7.8%	0.0%	0.0%	4.3%
10 バリアフリー化、ユニバーサルデザインによる暮らしやすいまちづくりが進んでいない	167	10.0%	11.6%	100.0%	0.0%	13.0%
11 わからない	73	6.5%	3.5%	0.0%	28.6%	8.7%
12 その他	10	1.0%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%
13 無回答	7	0.7%	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%
合計	1,518	100%	100%	100%	100%	100%

○ 年齢階層別では、全年齢層において「3人々の意識はかなり進んできたがまだまだ差別や偏見がある」が最も高い。10歳代において「1 福祉施策の充実などにより、人権はおおむね保障されている」（20.7%）が他年齢層より高くなっている。

選択項目	回答数	16～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	無回答
1	117	20.7%	3.4%	4.7%	5.5%	8.7%	5.8%	10.3%	13.0%
2	36	6.9%	0.0%	2.0%	2.7%	1.2%	2.0%	3.4%	0.0%
3	435	37.9%	31.0%	26.0%	31.8%	27.7%	28.9%	27.6%	26.1%
4	64	0.0%	6.9%	4.0%	5.0%	5.5%	3.2%	3.9%	4.3%
5	260	6.9%	13.8%	18.7%	13.6%	18.2%	18.8%	18.0%	8.7%
6	151	3.4%	8.6%	8.7%	10.5%	9.5%	9.8%	11.2%	8.7%
7	51	0.0%	5.2%	4.7%	5.0%	2.4%	3.5%	2.5%	4.3%
8	39	0.0%	3.4%	2.0%	2.7%	2.4%	2.0%	3.2%	4.3%
9	108	6.9%	6.9%	8.7%	7.3%	7.9%	8.1%	5.2%	8.7%
10	167	3.4%	5.2%	13.3%	9.1%	12.6%	13.6%	9.3%	13.0%
11	73	10.3%	12.1%	6.7%	6.8%	3.2%	3.2%	3.9%	8.7%
12	10	3.4%	1.7%	0.7%	0.0%	0.4%	0.6%	0.9%	0.0%
13	7	0.0%	1.7%	0.0%	0.0%	0.4%	0.6%	0.7%	0.0%
合計	1,518	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

問12 身体障がいのある人※11の人権を尊重するためには、どのようなところに問題があると思いますか。特に問題だと思うものに○をつけてください。（○は3つ以内）

選択項目	回答数	構成比
1 職場、学校、地域などで嫌がらせやいじめを受けること	148	10.1%
2 交際や結婚を反対されること	99	6.8%
3 就職・職場で不利な扱いを受けること	180	12.3%
4 差別的な言葉を言われること	104	7.1%
5 仕事に就く機会が少なく、また、障がいのある人が働くための職場の環境が十分でないこと	332	22.7%
6 障がいのない子どもたちと一緒に学ぶ環境整備など、学校の受け入れ体制が十分でないこと	123	8.4%
7 病院や福祉施設において、劣悪な処遇や虐待を受けたりすること	46	3.1%
8 アパートなどへの入居を拒否されること	25	1.7%
9 宿泊施設や公共交通機関の利用、店舗などへの入店を拒否されること	13	0.9%
10 スポーツ・文化活動に気軽に参加できないこと	55	3.8%
11 地域活動に気軽に参加できないこと	49	3.3%
12 じろじろと見られたり、避けられたりすること	161	11.0%
13 わからない	91	6.2%
14 その他	23	1.6%
15 無回答	14	1.0%
合計	1,463	100%

○ 「5 仕事に就く機会が少なく、また、障がいのある人が働くための職場の環境が十分でないこと」（22.7%）が最も高く、次いで「3 就職・職場で不利な扱いを受けること」（12.3%）が高い。「12 じろじろと見られたり、避けられたりすること」（11.0%）、「10 スポーツ・文化活動に気軽に参加できないこと」（3.8%）は、他の障がい種別と比較し高くなっている。

○ 性別では、男女ともに「5 仕事に就く機会が少なく、また、障がいのある人が働くための職場の環境が十分でないこと」が最も高く、次いで「3 就職・職場で不利な扱いを受けること」となっている。「1 職場、学校、地域などで嫌がらせやいじめを受けること」は男性が2ポイント高くなっている。

選択項目	回答数	男	女	その他	答えたくない	無回答
1 職場、学校、地域などで嫌がらせやいじめを受けること	148	11.4%	9.4%	0.0%	0.0%	8.3%
2 交際や結婚を反対されること	99	6.0%	7.2%	0.0%	14.3%	8.3%
3 就職・職場で不利な扱いを受けること	180	13.3%	11.6%	0.0%	14.3%	12.5%
4 差別的な言葉を言われること	104	7.5%	7.0%	0.0%	14.3%	0.0%
5 仕事に就く機会が少なく、また、障がいのある人が働くための職場の環境が十分でないこと	332	21.3%	23.8%	0.0%	28.6%	16.7%
6 障がいのない子どもたちと一緒に学ぶ環境整備など、学校の受け入れ体制が十分でないこと	123	7.5%	8.9%	0.0%	0.0%	16.7%
7 病院や福祉施設において、劣悪な処遇や虐待を受けたりすること	46	1.9%	4.0%	0.0%	0.0%	4.2%
8 アパートなどへの入居を拒否されること	25	2.0%	1.5%	0.0%	0.0%	0.0%
9 宿泊施設や公共交通機関の利用、店舗などへの入店を拒否されること	13	1.5%	0.4%	0.0%	0.0%	4.2%
10 スポーツ・文化活動に気軽に参加できないこと	55	3.4%	3.8%	0.0%	0.0%	12.5%
11 地域活動に気軽に参加できないこと	49	3.2%	3.4%	0.0%	0.0%	4.2%
12 じろじろと見られたり、避けられたりすること	161	10.9%	11.3%	100.0%	0.0%	4.2%
13 わからない	91	7.3%	5.3%	0.0%	28.6%	4.2%
14 その他	23	1.5%	1.5%	0.0%	0.0%	4.2%
15 無回答	14	1.2%	0.8%	0.0%	0.0%	0.0%
合計	1,463	100%	100%	100%	100%	100%

○ 年齢階層別では、「1 職場、学校、地域などで嫌がらせやいじめを受けること」及び「12 じろじろと見られたり、避けられたりすること」は10歳代～20歳代が高く、30歳以上の年齢層では「5 仕事に就く機会が少なく、また、障がいのある人が働くための職場の環境が十分でないこと」が最も高い。

選択項目	回答数	16～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	無回答
1	148	30.6%	11.7%	9.3%	12.9%	8.1%	8.3%	9.5%	9.1%
2	99	5.6%	5.0%	6.0%	5.8%	8.9%	6.5%	7.0%	4.5%
3	180	11.1%	10.0%	17.2%	10.3%	8.5%	11.9%	14.6%	13.6%
4	104	11.1%	13.3%	9.9%	10.3%	5.5%	5.6%	5.5%	0.0%
5	332	5.6%	15.0%	18.5%	18.3%	22.6%	27.9%	25.1%	22.7%
6	123	0.0%	3.3%	7.3%	7.6%	8.9%	11.0%	8.0%	13.6%
7	46	0.0%	1.7%	5.3%	4.0%	5.1%	3.0%	1.3%	4.5%
8	25	0.0%	0.0%	3.3%	0.9%	0.9%	2.4%	2.0%	0.0%
9	13	0.0%	1.7%	0.7%	0.4%	0.9%	0.9%	1.0%	4.5%
10	55	0.0%	5.0%	2.0%	4.5%	5.5%	3.0%	3.5%	9.1%
11	49	0.0%	0.0%	2.6%	4.0%	5.1%	2.7%	3.5%	4.5%
12	161	25.0%	23.3%	10.6%	11.6%	12.3%	10.4%	7.8%	4.5%
13	91	5.6%	6.7%	5.3%	8.0%	6.0%	5.0%	6.8%	4.5%
14	23	5.6%	1.7%	2.0%	0.9%	1.3%	0.3%	2.5%	4.5%
15	14	0.0%	1.7%	0.0%	0.4%	0.4%	1.2%	1.8%	0.0%
合計	1,463	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

問13 知的障がいのある人※12の人権を尊重するためには、どのようなところに問題があると思いますか。特に問題だと思うものに○をつけてください。（○は3つ以内）

選択項目	回答数	構成比
1 職場、学校、地域などで嫌がらせやいじめを受けること	182	12.2%
2 交際や結婚を反対されること	97	6.5%
3 就職・職場で不利な扱いを受けること	202	13.6%
4 差別的な言葉を言われること	123	8.3%
5 仕事に就く機会が少なく、また、障がいのある人が働くための職場の環境が十分でないこと	324	21.7%
6 障がいのない子どもたちと一緒に学ぶ環境整備など、学校の受け入れ体制が十分でないこと	119	8.0%
7 病院や福祉施設において、劣悪な処遇や虐待を受けたりすること	52	3.5%
8 アパートなどへの入居を拒否されること	34	2.3%
9 宿泊施設や公共交通機関の利用、店舗などへの入店を拒否されること	4	0.3%
10 スポーツ・文化活動に気軽に参加できないこと	34	2.3%
11 地域活動に気軽に参加できないこと	46	3.1%
12 じろじろと見られたり、避けられたりすること	138	9.3%
13 わからない	94	6.3%
14 その他	21	1.4%
15 無回答	20	1.3%
合計	1,490	100%

○ 「5 仕事に就く機会が少なく、また、障がいのある人が働くための職場の環境が十分でないこと」（21.7%）が最も高く、次いで「3 就職・職場で不利な扱いを受けること」（13.6%）、「1 職場、学校、地域などで嫌がらせやいじめを受けること」（12.2）となっている。「4 差別的な言葉を言われること」（8.3%）及び「8 アパートなどへの入居を拒否されること」（2.3%）は他の障がい種別と比較し高くなっている。

○ 性別では、男女ともに「5 仕事に就く機会が少なく、また、障がいのある人が働くための職場の環境が十分でないこと」が最も高く、次いで「3 就職・職場で不利な扱いを受けること」「1 職場、学校、地域などで嫌がらせやいじめを受けること」の順に高い。「6 障がいのない子どもたちと一緒に学ぶ環境整備など、学校の受け入れ体制が十分でないこと」は女性が3.2ポイント高くなっている。

選択項目	回答数	男	女	その他	答えたくない	無回答
1 職場、学校、地域などで嫌がらせやいじめを受けること	182	13.0%	11.9%	0.0%	0.0%	8.7%
2 交際や結婚を反対されること	97	6.7%	6.1%	0.0%	0.0%	17.4%
3 就職・職場で不利な扱いを受けること	202	15.3%	12.7%	0.0%	0.0%	4.3%
4 差別的な言葉を言われること	123	7.7%	8.6%	0.0%	12.5%	8.7%
5 仕事に就く機会が少なく、また、障がいのある人が働くための職場の環境が十分でないこと	324	20.5%	22.9%	100.0%	12.5%	13.0%
6 障がいのない子どもたちと一緒に学ぶ環境整備など、学校の受け入れ体制が十分でないこと	119	6.1%	9.3%	0.0%	12.5%	8.7%
7 病院や福祉施設において、劣悪な処遇や虐待を受けたりすること	52	2.6%	4.2%	0.0%	0.0%	0.0%
8 アパートなどへの入居を拒否されること	34	2.0%	2.4%	0.0%	12.5%	4.3%
9 宿泊施設や公共交通機関の利用、店舗などへの入店を拒否されること	4	0.5%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%
10 スポーツ・文化活動に気軽に参加できないこと	34	2.1%	2.4%	0.0%	0.0%	4.3%
11 地域活動に気軽に参加できないこと	46	3.0%	3.2%	0.0%	0.0%	4.3%
12 じろじろと見られたり、避けられたりすること	138	10.7%	8.1%	0.0%	25.0%	8.7%
13 わからない	94	7.7%	4.9%	0.0%	25.0%	13.0%
14 その他	21	1.1%	1.5%	0.0%	0.0%	4.3%
15 無回答	20	1.0%	1.6%	0.0%	0.0%	0.0%
合計	1,490	100%	100%	100%	100%	100%

○ 年齢別では、「1 職場、学校、地域などで嫌がらせやいじめを受けること」は10歳代及び30歳代で最も高い。「3 就職・職場で不利な扱いを受けること」は、20歳代が最も高く、その他の年齢層は、「5 仕事に就く機会が少なく、また、障がいのある人が働くための職場の環境が十分でないこと」が最も高くなっている。

選択項目	回答数	16～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	無回答
1	182	27.8%	15.8%	16.1%	14.0%	11.1%	7.9%	12.2%	9.1%
2	97	5.6%	5.3%	5.2%	7.0%	9.0%	6.2%	5.7%	9.1%
3	202	8.3%	21.1%	14.2%	12.7%	15.0%	12.1%	14.1%	4.5%
4	123	16.7%	10.5%	12.9%	10.1%	6.8%	7.9%	5.7%	4.5%
5	324	5.6%	19.3%	11.0%	18.9%	20.5%	27.1%	25.8%	13.6%
6	119	5.6%	0.0%	6.5%	6.6%	7.7%	12.4%	6.9%	13.6%
7	52	0.0%	1.8%	6.5%	4.8%	5.6%	2.1%	2.4%	0.0%
8	34	0.0%	0.0%	3.9%	2.2%	1.3%	2.6%	2.4%	4.5%
9	4	0.0%	0.0%	0.0%	0.4%	0.4%	0.6%	0.0%	0.0%
10	34	2.8%	1.8%	0.6%	2.2%	2.1%	0.9%	4.1%	4.5%
11	46	0.0%	1.8%	2.6%	2.6%	2.1%	4.4%	3.1%	9.1%
12	138	16.7%	12.3%	11.6%	8.3%	10.7%	9.7%	6.7%	9.1%
13	94	8.3%	5.3%	6.5%	9.2%	5.1%	5.0%	6.0%	13.6%
14	21	2.8%	3.5%	2.6%	0.4%	1.7%	0.3%	1.7%	4.5%
15	20	0.0%	1.8%	0.0%	0.4%	0.9%	0.9%	3.1%	0.0%
合計	1,490	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

問14 精神障がいのある人※13の人権を尊重するためには、どのようなところに問題があると思いますか。特に問題だと思ふものに○をつけてください。（○は3つ以内）

選択項目	回答数	構成比
1 職場、学校、地域などで嫌がらせやいじめを受けること	167	11.9%
2 交際や結婚を反対されること	103	7.3%
3 就職・職場で不利な扱いを受けること	215	15.3%
4 差別的な言葉を言われること	104	7.4%
5 仕事に就く機会が少なく、また、障がいのある人が働くための職場の環境が十分でないこと	287	20.4%
6 障がいのない子どもたちと一緒に学ぶ環境整備など、学校の受け入れ体制が十分でないこと	71	5.1%
7 病院や福祉施設において、劣悪な処遇や虐待を受けたりすること	57	4.1%
8 アパートなどへの入居を拒否されること	30	2.1%
9 宿泊施設や公共交通機関の利用、店舗などへの入店を拒否されること	5	0.4%
10 スポーツ・文化活動に気軽に参加できないこと	34	2.4%
11 地域活動に気軽に参加できないこと	61	4.3%
12 じろじろと見られたり、避けられたりすること	91	6.5%
13 わからない	130	9.3%
14 その他	26	1.9%
15 無回答	23	1.6%
合計	1,404	100%

○ 「5 仕事に就く機会が少なく、また、障がいのある人が働くための職場の環境が十分でないこと」（20.4%）が最も高く、次いで「3 就職・職場で不利な扱いを受けること」（15.3%）、「1 職場、学校、地域などで嫌がらせやいじめを受けること」（11.9%）の順に高い。「3 就職・職場で不利な扱いを受けること」及び「11 地域活動に気軽に参加できないこと」は他の障がい種別と比較し高くなっている。

○ 性別では、男女ともに、「5 仕事に就く機会が少なく、また、障がいのある人が働くための職場の環境が十分でないこと」「3 就職・職場で不利な扱いを受けること」「1 職場、学校、地域などで嫌がらせやいじめを受けること」の順に高くなっている。

選択項目	回答数	男	女	その他	答えたくない	無回答
1 職場、学校、地域などで嫌がらせやいじめを受けること	167	11.8%	12.1%	50.0%	0.0%	9.5%
2 交際や結婚を反対されること	103	6.5%	7.8%	0.0%	0.0%	14.3%
3 就職・職場で不利な扱いを受けること	215	16.3%	14.8%	0.0%	14.3%	9.5%
4 差別的な言葉を言われること	104	6.7%	8.0%	0.0%	14.3%	4.8%
5 仕事に就く機会が少なく、また、障がいのある人が働くための職場の環境が十分でないこと	287	18.6%	22.0%	0.0%	0.0%	19.0%
6 障がいのない子どもたちと一緒に学ぶ環境整備など、学校の受け入れ体制が十分でないこと	71	4.7%	5.3%	50.0%	0.0%	0.0%
7 病院や福祉施設において、劣悪な処遇や虐待を受けたりすること	57	3.3%	4.6%	0.0%	0.0%	4.8%
8 アパートなどへの入居を拒否されること	30	1.8%	2.4%	0.0%	14.3%	0.0%
9 宿泊施設や公共交通機関の利用、店舗などへの入店を拒否されること	5	0.7%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%
10 スポーツ・文化活動に気軽に参加できないこと	34	2.6%	2.2%	0.0%	0.0%	4.8%
11 地域活動に気軽に参加できないこと	61	4.7%	4.0%	0.0%	0.0%	9.5%
12 じろじろと見られたり、避けられたりすること	91	7.9%	5.5%	0.0%	14.3%	4.8%
13 わからない	130	10.9%	7.6%	0.0%	42.9%	19.0%
14 その他	26	2.1%	1.7%	0.0%	0.0%	0.0%
15 無回答	23	1.4%	1.9%	0.0%	0.0%	0.0%
合計	1,404	100%	100%	100%	100%	100%

○ 年齢階層別では、10歳代及び30歳代は「1 職場、学校、地域などで嫌がらせやいじめを受けること」が最も多く、20歳代は「3 就職・職場で不利な扱いを受けること」及び「5 仕事に就く機会が少なく、また、障がいのある人が働くための職場の環境が十分でないこと」が最も高い。その他の年齢層は「5 仕事に就く機会が少なく、また、障がいのある人が働くための職場の環境が十分でないこと」が最も高くなっており、特に60歳代（24.8%）が高い。

選択項目	回答数	16～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	無回答
1	167	25.7%	16.1%	16.3%	14.8%	10.7%	10.2%	9.1%	9.5%
2	103	2.9%	3.6%	7.8%	5.7%	9.4%	7.1%	7.9%	9.5%
3	215	5.7%	17.9%	15.6%	13.8%	15.6%	14.6%	17.0%	14.3%
4	104	8.6%	14.3%	9.2%	7.6%	9.4%	7.4%	4.8%	0.0%
5	287	8.6%	17.9%	15.6%	18.1%	17.9%	24.8%	22.6%	23.8%
6	71	5.7%	1.8%	4.3%	4.3%	4.0%	7.7%	4.8%	0.0%
7	57	2.9%	1.8%	5.7%	4.8%	6.7%	2.2%	3.6%	4.8%
8	30	0.0%	0.0%	2.8%	1.4%	2.2%	3.4%	1.8%	0.0%
9	5	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.4%	0.3%	0.8%	0.0%
10	34	5.7%	3.6%	0.7%	1.4%	1.8%	1.9%	3.8%	4.8%
11	61	5.7%	3.6%	3.5%	2.9%	2.2%	5.6%	5.1%	14.3%
12	91	8.6%	12.5%	7.8%	9.5%	8.5%	4.6%	3.8%	4.8%
13	130	14.3%	7.1%	7.8%	13.3%	6.7%	8.4%	9.4%	14.3%
14	26	5.7%	0.0%	2.8%	1.4%	3.1%	0.3%	2.3%	0.0%
15	23	0.0%	0.0%	0.0%	1.0%	1.3%	1.5%	3.3%	0.0%
合計	1,404	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

問15 発達障がいのある人※14の人権を尊重するためには、どのようなところに問題があると思いますか。特に問題だと思うものに○をつけてください。（○は3つ以内）

選択項目	回答数	構成比
1 職場、学校、地域などで嫌がらせやいじめを受けること	248	17.2%
2 交際や結婚を反対されること	71	4.9%
3 就職・職場で不利な扱いを受けること	205	14.2%
4 差別的な言葉を言われること	115	8.0%
5 仕事に就く機会が少なく、また、障がいのある人が働くための職場の環境が十分でないこと	259	17.9%
6 障がいのない子どもたちと一緒に学ぶ環境整備など、学校の受け入れ体制が十分でないこと	141	9.8%
7 病院や福祉施設において、劣悪な処遇や虐待を受けたりすること	23	1.6%
8 アパートなどへの入居を拒否されること	18	1.2%
9 宿泊施設や公共交通機関の利用、店舗などへの入店を拒否されること	6	0.4%
10 スポーツ・文化活動に気軽に参加できないこと	35	2.4%
11 地域活動に気軽に参加できないこと	51	3.5%
12 じろじろと見られたり、避けられたりすること	106	7.3%
13 わからない	123	8.5%
14 その他	20	1.4%
15 無回答	23	1.6%
合計	1,444	100%

○ 「5 仕事に就く機会が少なく、また、障がいのある人が働くための職場の環境が十分でないこと」（17.9%）が最も高い。次いで「1 職場、学校、地域などで嫌がらせやいじめを受けること」（17.2%）が高く、「1 職場、学校、地域などで嫌がらせやいじめを受けること」及び「6 障がいのない子どもたちと一緒に学ぶ環境整備など、学校の受け入れ体制が十分でないこと」は他の障がい種別と比較し高くなっている。

○ 性別では、男女ともに「5 仕事に就く機会が少なく、また、障がいのある人が働くための職場の環境が十分でないこと」が最も高く、女性が2.2ポイント高い。「1 職場、学校、地域などで嫌がらせやいじめを受けること」は、男性は「5 仕事に就く機会が少なく、また、障がいのある人が働くための職場の環境が十分でないこと」と同率であり、女性は17.8%と高い。

選択項目	回答数	男	女	その他	答えたくない	無回答
1 職場、学校、地域などで嫌がらせやいじめを受けること	248	16.8%	17.8%	33.3%	0.0%	10.0%
2 交際や結婚を反対されること	71	6.0%	3.9%	0.0%	0.0%	15.0%
3 就職・職場で不利な扱いを受けること	205	14.5%	14.1%	33.3%	11.1%	10.0%
4 差別的な言葉を言われること	115	8.0%	8.0%	33.3%	11.1%	0.0%
5 仕事に就く機会が少なく、また、障がいのある人が働くための職場の環境が十分でないこと	259	16.8%	19.0%	0.0%	11.1%	15.0%
6 障がいのない子どもたちと一緒に学ぶ環境整備など、学校の受け入れ体制が十分でないこと	141	8.7%	10.6%	0.0%	22.2%	5.0%
7 病院や福祉施設において、劣悪な処遇や虐待を受けたりすること	23	1.5%	1.7%	0.0%	0.0%	0.0%
8 アパートなどへの入居を拒否されること	18	1.5%	1.1%	0.0%	0.0%	0.0%
9 宿泊施設や公共交通機関の利用、店舗などへの入店を拒否されること	6	0.5%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%
10 スポーツ・文化活動に気軽に参加できないこと	35	2.2%	2.6%	0.0%	0.0%	5.0%
11 地域活動に気軽に参加できないこと	51	3.5%	3.5%	0.0%	11.1%	5.0%
12 じろじろと見られたり、避けられたりすること	106	8.2%	6.7%	0.0%	22.2%	5.0%
13 わからない	123	9.5%	7.6%	0.0%	11.1%	15.0%
14 その他	20	1.2%	1.5%	0.0%	0.0%	5.0%
15 無回答	23	1.3%	1.6%	0.0%	0.0%	10.0%
合計	1,444	100%	100%	100%	100%	100%

○ 年齢階層別では、50歳代以下は概ね「1 職場、学校、地域などで嫌がらせやいじめを受けること」が高く、60歳代以上は「5 仕事に就く機会が少なく、また、障がいのある人が働くための職場の環境が十分でないこと」が高くなっている。20歳代は「3 就職・職場で不利な扱いを受けること」（19.0%）が最も高い。

選択項目	回答数	16～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	無回答
1	248	33.3%	17.2%	20.4%	18.6%	18.8%	15.3%	14.9%	9.1%
2	71	2.8%	5.2%	3.4%	5.0%	6.9%	4.3%	4.8%	9.1%
3	205	8.3%	19.0%	19.7%	13.2%	13.8%	14.4%	13.0%	9.1%
4	115	13.9%	15.5%	12.2%	8.6%	7.3%	6.7%	6.3%	0.0%
5	259	5.6%	10.3%	12.9%	15.5%	15.1%	22.0%	21.2%	22.7%
6	141	13.9%	5.2%	6.1%	8.6%	7.8%	13.5%	10.3%	4.5%
7	23	0.0%	0.0%	2.7%	1.4%	2.3%	1.2%	1.7%	0.0%
8	18	0.0%	0.0%	1.4%	0.5%	0.9%	1.8%	1.7%	0.0%
9	6	0.0%	0.0%	0.7%	0.0%	0.5%	0.3%	0.7%	0.0%
10	35	0.0%	1.7%	0.7%	2.3%	1.8%	2.1%	3.8%	4.5%
11	51	0.0%	1.7%	2.0%	4.5%	1.8%	4.0%	4.3%	9.1%
12	106	5.6%	10.3%	8.2%	10.0%	11.0%	5.5%	4.8%	9.1%
13	123	11.1%	10.3%	8.2%	10.5%	8.7%	6.7%	8.4%	9.1%
14	20	5.6%	1.7%	1.4%	0.5%	2.3%	0.6%	1.4%	4.5%
15	23	0.0%	1.7%	0.0%	0.9%	0.9%	1.5%	2.6%	9.1%
合計	1,444	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

問16 女性の人権を尊重するためにはどのようなところに問題があると思いますか。特に問題だと思うものに○をつけてください。(○は3つ以内)

選択項目	回答数	構成比
1 家庭内での家事や育児・介護の分担	334	22.1%
2 家族や身近な人による差別的発言や暴力など	95	6.3%
3 地域におけるしきたりや風習、自治公民館などでの女性の役割や仕事の分担	206	13.6%
4 職場での仕事の内容やセクシュアル・ハラスメント(性的いやがらせ)	180	11.9%
5 マタニティ・ハラスメント	102	6.7%
6 採用や就職、昇級や役職への昇任など男性との差	207	13.7%
7 売春やアダルトビデオ、ポルノ雑誌などに見られる性の商品化	77	5.1%
8 民法などの法制度や行政が行う施策	22	1.5%
9 「令夫人」、「婦人」、「未亡人」、「家内」のように女性だけに用いられる言葉が使われること	51	3.4%
10 男性が育児を行うことに対する職場の無理解	152	10.0%
11 女性に対する差別や人権侵害は、ほとんど存在しない	24	1.6%
12 その他	28	1.8%
13 無回答	36	2.4%
合計	1,514	100%

○ 「1 家庭内での家事や育児・介護の分担」(22.1%)が最も高く、次いで「6 採用や就職、昇級や役職への昇任など男性との差」(13.7%)、「3 地域におけるしきたりや風習、自治公民館などでの女性の役割や仕事の分担」(13.6%)の順に高くなっている。

○ 性別では、男女ともに「1 家庭内での家事や育児・介護の分担」が最も高く、女性が5.1ポイント高い。次いで、男性は「3 地域におけるしきたりや風習、自治公民館などでの女性の役割や仕事の分担」(14.1%)、女性は「6 採用や就職、昇級や役職への昇任など男性との差」(14.1%)となっている。

選択項目	回答数	男	女	その他	答えたくない	無回答
1 家庭内での家事や育児・介護の分担	334	18.9%	24.0%	50.0%	27.3%	26.3%
2 家族や身近な人による差別的発言や暴力など	95	4.8%	7.4%	0.0%	0.0%	5.3%
3 地域におけるしきたりや風習、自治公民館などでの女性の役割や仕事の分担	206	14.1%	13.3%	0.0%	27.3%	5.3%
4 職場での仕事の内容やセクシュアル・ハラスメント(性的いやがらせ)	180	13.9%	10.7%	0.0%	9.1%	5.3%
5 マタニティ・ハラスメント	102	9.6%	5.0%	0.0%	0.0%	0.0%
6 採用や就職、昇級や役職への昇任など男性との差	207	13.2%	14.1%	0.0%	0.0%	15.8%
7 売春やアダルトビデオ、ポルノ雑誌などに見られる性の商品化	77	5.0%	4.9%	50.0%	9.1%	10.5%
8 民法などの法制度や行政が行う施策	22	1.3%	1.6%	0.0%	0.0%	0.0%
9 「令夫人」、「婦人」、「未亡人」、「家内」のように女性だけに用いられる言葉が使われること	51	2.5%	4.0%	0.0%	0.0%	5.3%
10 男性が育児を行うことに対する職場の無理解	152	9.9%	9.8%	0.0%	18.2%	21.1%
11 女性に対する差別や人権侵害は、ほとんど存在しない	24	2.5%	0.9%	0.0%	9.1%	0.0%
12 その他	28	1.2%	2.4%	0.0%	0.0%	0.0%
13 無回答	36	3.1%	1.8%	0.0%	0.0%	5.3%
合計	1,514	100%	100%	100%	100%	100%

○ 年齢階層別では、全年齢層で「1 家庭内での家事や育児・介護の分担」が最も高く、中でも20歳代が最も高くなっている。「11 女性に対する差別や人権侵害は、ほとんど存在しない」は70歳代（3.4%）が最も高くなっている。

選択項目	回答数	16～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	無回答
1	334	22.0%	27.1%	18.2%	24.8%	19.2%	25.0%	20.2%	26.3%
2	95	17.1%	5.1%	7.4%	5.1%	7.1%	6.3%	4.9%	10.5%
3	206	14.6%	6.8%	14.2%	18.4%	12.2%	15.6%	11.1%	5.3%
4	180	14.6%	16.9%	16.9%	12.4%	12.9%	9.7%	10.1%	10.5%
5	102	2.4%	8.5%	11.5%	5.1%	9.4%	6.8%	4.7%	0.0%
6	207	7.3%	13.6%	7.4%	10.7%	11.8%	15.3%	18.5%	5.3%
7	77	7.3%	0.0%	2.7%	3.0%	5.5%	5.7%	6.7%	10.5%
8	22	0.0%	1.7%	2.0%	0.9%	1.6%	1.4%	1.7%	0.0%
9	51	2.4%	1.7%	1.4%	2.6%	5.1%	2.8%	4.2%	5.3%
10	152	7.3%	11.9%	11.5%	13.7%	11.0%	8.5%	7.6%	21.1%
11	24	0.0%	1.7%	0.7%	0.4%	1.2%	1.1%	3.4%	0.0%
12	28	2.4%	1.7%	4.1%	2.1%	2.0%	0.6%	2.0%	0.0%
15	36	2.4%	3.4%	2.0%	0.9%	1.2%	1.1%	4.9%	5.3%
合計	1,514	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

問17 あなたは、日本で暮らす外国にルーツを持つ人※16の人権を尊重するためには、どのようなところに問題があると思いますか。特に問題だと思うものに○をつけてください。（○は3つ以内）

選択項目	回答数	構成比
1 外国にルーツを持つ人に対し、「日本人より能力が劣っている」「人種・民族が違う」等、差別意識や偏見がある	107	8.9%
2 外国籍者（特別永住者を除く）には在留カードの常時携帯義務がある	37	3.1%
3 住宅を容易に借りることができない	50	4.1%
4 外国籍者（特別永住者を除く）には在留資格の取得に関し、許可条件が厳しい	71	5.9%
5 病院や公共交通機関・施設等に通訳や外国語表記がなく、十分なサービスが受けられない	142	11.8%
6 学校や自治体等からの通知が日本語のみ（ルビもない）で理解しにくい	111	9.2%
7 個々の文化（生活習慣や考え方等）が違うので地域社会になかなか受け入れられない	174	14.4%
8 外国にルーツを持つ人の子どもが母国の文化（言語・生活習慣等）を学ぶ教育の場がない	85	7.0%
9 就職や仕事の内容・待遇などで不利な条件に置かれている	128	10.6%
10 特に問題と感ずることはない	56	4.6%
11 わからない	210	17.4%
12 その他	17	1.4%
13 無回答	20	1.7%
合計	1,208	100%

○ 「11 わからない」 (17.4%) が最も多く、次いで「7 個々の文化 (生活習慣や考え方等) が違うので地域社会になかなか受け入れられない」 (14.4%)、「5 病院や公共交通機関・施設等に通訳や外国語表記がなく、十分なサービスが受けられない」 (11.8%) の順に高くなっている。

○ 性別では、男女ともに「11 わからない」が最も高く、次いで「7 個々の文化 (生活習慣や考え方等) が違うので地域社会になかなか受け入れられない」が高い。「5 病院や公共交通機関・施設等に通訳や外国語表記がなく、十分なサービスが受けられない」は女性が4.5ポイント高くなっている。

選択項目	回答数	男	女	その他	答えたくない	無回答
1 外国にルーツを持つ人に対し、「日本人より能力が劣っている」「人種・民族が違う」等、差別意識や偏見がある	107	9.5%	8.4%	0.0%	0.0%	12.5%
2 外国籍者 (特別永住者を除く) には在留カードの常時携帯義務がある	37	2.7%	3.4%	0.0%	0.0%	0.0%
3 住宅を容易に借りることができない	50	3.9%	4.1%	0.0%	14.3%	6.3%
4 外国籍者 (特別永住者を除く) には在留資格の取得に関し、許可条件が厳しい	71	7.6%	4.9%	0.0%	0.0%	0.0%
5 病院や公共交通機関・施設等に通訳や外国語表記がなく、十分なサービスが受けられない	142	9.1%	13.6%	0.0%	14.3%	12.5%
6 学校や自治体等からの通知が日本語のみ (ルビもない) で理解しにくい	111	6.8%	11.2%	0.0%	0.0%	0.0%
7 個々の文化 (生活習慣や考え方等) が違うので地域社会になかなか受け入れられない	174	14.8%	14.2%	0.0%	0.0%	18.8%
8 外国にルーツを持つ人の子どもが母国の文化 (言語・生活習慣等) を学ぶ教育の場がない	85	7.4%	6.6%	0.0%	14.3%	12.5%
9 就職や仕事の内容・待遇などで不利な条件に置かれている	128	11.3%	10.3%	0.0%	0.0%	6.3%
10 特に問題と感ずることはない	56	4.9%	4.1%	100.0%	14.3%	6.3%
11 わからない	210	19.0%	15.9%	0.0%	42.9%	25.0%
12 その他	17	0.8%	1.9%	0.0%	0.0%	0.0%
13 無回答	20	2.1%	1.4%	0.0%	0.0%	0.0%
合計	1,208	100%	100%	100%	100%	100%

○ 年齢階層別では、10歳代、20歳代、60歳代において「7 個々の文化 (生活習慣や考え方等) が違うので地域社会になかなか受け入れられない」が最も高く、「11 わからない」は全年齢層において高くなっている。

選択項目	回答数	16~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	無回答
1	107	16.1%	10.9%	9.2%	9.5%	12.0%	9.2%	5.3%	12.5%
2	37	6.5%	6.5%	2.5%	1.8%	2.6%	3.7%	2.9%	0.0%
3	50	3.2%	0.0%	7.5%	6.0%	3.1%	4.8%	2.6%	6.3%
4	71	6.5%	2.2%	4.2%	1.8%	3.6%	10.5%	6.5%	0.0%
5	142	6.5%	13.0%	7.5%	9.5%	14.1%	10.2%	14.7%	12.5%
6	111	9.7%	17.4%	11.7%	11.9%	9.4%	10.2%	5.3%	0.0%
7	174	19.4%	19.6%	9.2%	13.1%	13.0%	17.0%	14.1%	18.8%
8	85	3.2%	0.0%	9.2%	6.0%	10.9%	5.1%	7.6%	6.3%
9	128	6.5%	8.7%	8.3%	10.7%	8.3%	12.2%	12.0%	6.3%
10	56	3.2%	0.0%	9.2%	5.4%	3.6%	3.1%	5.3%	6.3%
11	210	16.1%	17.4%	18.3%	22.0%	16.7%	12.2%	19.4%	25.0%
12	17	3.2%	2.2%	3.3%	2.4%	1.6%	0.3%	0.9%	0.0%
15	20	0.0%	2.2%	0.0%	0.0%	1.0%	1.4%	3.5%	6.3%
合計	1,208	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

問18 子どもの人権を尊重するためには、どのようなところに問題があると思いますか。特に問題だと思うものに○をつけてください。（○は3つ以内）

選択項目	回答数	構成比
1 いじめを受けること	321	19.9%
2 体罰を受けること	82	5.1%
3 虐待を受けること	275	17.0%
4 いじめ、体罰や虐待について、周りの人が気がついているのに何もしないこと	319	19.8%
5 学校や就職先の選択などに関する子どもの意見について、大人がその意見を無視すること	158	9.8%
6 児童買春・児童ポルノなどの対象となること	90	5.6%
7 インターネット上などの子どもを取り巻く情報の氾濫	298	18.5%
8 わからない	46	2.9%
9 その他	14	0.9%
10 無回答	11	0.7%
合計	1,614	100%

○ 「1 いじめを受けること」（19.9%）が最も高く、次いで「4 いじめ、体罰や虐待について、周りの人が気がついているのに何もしないこと」（19.8%）、「7 インターネット上などの子どもを取り巻く情報の氾濫」（18.5%）の順に高くなっている。

○ 性別では、男性は「1 いじめを受けること」（22.6%）が最も高く、女性より4.6ポイント高い。女性は「4 いじめ、体罰や虐待について、周りの人が気がついているのに何もしないこと」（20.4%）が最も高い。

選択項目	回答数	男	女	その他	答えたくない	無回答
1 いじめを受けること	321	22.6%	18.0%	0.0%	18.2%	19.0%
2 体罰を受けること	82	5.5%	4.9%	0.0%	9.1%	0.0%
3 虐待を受けること	275	15.7%	18.1%	0.0%	18.2%	9.5%
4 いじめ、体罰や虐待について、周りの人が気がついているのに何もしないこと	319	19.1%	20.4%	0.0%	9.1%	19.0%
5 学校や就職先の選択などに関する子どもの意見について、大人がその意見を無視すること	158	10.2%	9.5%	0.0%	9.1%	9.5%
6 児童買春・児童ポルノなどの対象となること	90	4.6%	6.0%	0.0%	18.2%	9.5%
7 インターネット上などの子どもを取り巻く情報の氾濫	298	17.6%	18.9%	0.0%	18.2%	28.6%
8 わからない	46	3.7%	2.2%	100.0%	0.0%	4.8%
9 その他	14	0.5%	1.2%	0.0%	0.0%	0.0%
10 無回答	11	0.5%	0.9%	0.0%	0.0%	0.0%
合計	1,614	100%	100%	100%	100%	100%

○ 年齢階層別では、10歳代は「1 いじめを受けること」（25.0%）が最も高く、20歳代は「7 インターネット上などの子どもを取り巻く情報の氾濫」（25.4%）が最も高くなっている。「5 学校や就職先の選択などに関する子どもの意見について、大人がその意見を無視すること」及び「7 インターネット上などの子どもを取り巻く情報の氾濫」は、他年齢層と比較して20歳代が最も高くなっている。

選択項目	回答数	16～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	無回答
1	321	25.0%	15.9%	18.7%	18.6%	21.8%	20.3%	19.7%	20.8%
2	82	8.3%	6.3%	4.2%	5.8%	3.3%	4.6%	6.3%	0.0%
3	275	16.7%	17.5%	15.7%	19.8%	21.0%	16.8%	13.8%	16.7%
4	319	13.9%	11.1%	18.1%	17.8%	18.8%	21.6%	22.2%	20.8%
5	158	8.3%	17.5%	12.7%	10.3%	12.5%	6.5%	8.8%	4.2%
6	90	2.8%	1.6%	6.0%	7.0%	4.4%	5.7%	5.9%	8.3%
7	298	13.9%	25.4%	18.7%	17.4%	14.8%	21.4%	17.9%	25.0%
8	46	8.3%	1.6%	4.2%	2.5%	2.2%	1.9%	3.4%	4.2%
9	14	2.8%	1.6%	1.8%	0.4%	1.1%	0.8%	0.5%	0.0%
10	11	0.0%	1.6%	0.0%	0.4%	0.0%	0.5%	1.6%	0.0%
合計	1,614	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

問19 高齢者の人権を尊重するためには、どのようなところに問題があると思いますか。特に問題だと思うものに○をつけてください。（○は3つ以内）

選択項目	回答数	構成比
1 働く能力を発揮する機会が少ないこと	194	13.3%
2 差別的言葉を言われること	27	1.9%
3 悪徳商法、特殊詐欺の被害が多いこと	271	18.6%
4 アパートなどへの入居を拒否されること	72	4.9%
5 家庭内での看護や介護において嫌がらせや虐待を受けること	70	4.8%
6 病院での看護や介護施設において劣悪な処遇や虐待を受けること	116	8.0%
7 高齢者が邪魔者扱いされること	182	12.5%
8 高齢者の意見や行動が尊重されないこと	97	6.6%
9 経済的自立が困難なこと	227	15.6%
10 バリアフリー化が進んでいないこと	95	6.5%
11 わからない	79	5.4%
12 その他	12	0.8%
13 無回答	17	1.2%
合計	1,459	100%

○ 「3 悪徳商法、特殊詐欺の被害が多いこと」（18.6%）が最も高く、次いで「9 経済的自立が困難なこと」（15.6%）、「1 働く能力を発揮する機会が少ないこと」（13.3%）、「7 高齢者が邪魔者扱いされること」（12.5%）の順に高くなっている。

○ 性別では、男女ともに「3 悪徳商法、特殊詐欺の被害が多いこと」が最も高い。次いで男性は「1 働く能力を発揮する機会が少ないこと」（14.3%）、女性は「9 経済的自立が困難なこと」（17.0%）が高くなっている。「6 病院での看護や介護施設において劣悪な処遇や虐待を受けること」は女性が3.5ポイント高くなっている。

選択項目	回答数	男	女	その他	答えたくない	無回答
1 働く能力を発揮する機会が少ないこと	194	14.3%	12.5%	33.3%	10.0%	16.7%
2 差別的言葉を言われること	27	2.2%	1.7%	0.0%	0.0%	0.0%
3 悪徳商法、特殊詐欺の被害が多いこと	271	19.5%	18.2%	0.0%	30.0%	5.6%
4 アパートなどへの入居を拒否されること	72	4.1%	5.6%	0.0%	0.0%	5.6%
5 家庭内での看護や介護において嫌がらせや虐待を受けること	70	4.1%	5.1%	0.0%	10.0%	11.1%
6 病院での看護や介護施設において劣悪な処遇や虐待を受けること	116	6.0%	9.5%	0.0%	0.0%	5.6%
7 高齢者が邪魔者扱いされること	182	13.5%	11.5%	33.3%	10.0%	22.2%
8 高齢者の意見や行動が尊重されないこと	97	6.8%	6.3%	33.3%	20.0%	5.6%
9 経済的自立が困難なこと	227	13.8%	17.0%	0.0%	0.0%	16.7%
10 バリアフリー化が進んでいないこと	95	6.8%	6.5%	0.0%	0.0%	0.0%
11 わからない	79	7.0%	4.0%	0.0%	20.0%	11.1%
12 その他	12	0.7%	1.0%	0.0%	0.0%	0.0%
13 無回答	17	1.2%	1.2%	0.0%	0.0%	0.0%
合計	1,459	100%	100%	100%	100%	100%

○ 年齢階層別では、20歳代～60歳代は「3 悪徳商法、特殊詐欺の被害が多いこと」が最も高く、70歳代は「9 経済的自立が困難なこと」（16.9%）が最も高い。

選択項目	回答数	16～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	無回答
1	194	18.2%	16.0%	13.6%	13.5%	11.4%	13.1%	13.4%	16.7%
2	27	6.1%	0.0%	1.4%	1.3%	0.8%	2.7%	2.2%	0.0%
3	271	15.2%	26.0%	21.1%	19.7%	22.0%	18.5%	14.9%	5.6%
4	72	3.0%	2.0%	5.4%	3.5%	5.7%	5.4%	5.2%	5.6%
5	70	9.1%	4.0%	8.2%	7.0%	4.5%	3.6%	3.0%	11.1%
6	116	6.1%	8.0%	8.8%	10.5%	7.8%	6.9%	7.5%	5.6%
7	182	18.2%	10.0%	8.8%	13.1%	12.2%	13.7%	11.9%	22.2%
8	97	6.1%	2.0%	1.4%	4.4%	6.1%	8.4%	9.5%	5.6%
9	227	6.1%	14.0%	17.0%	13.5%	15.5%	16.1%	16.9%	11.1%
10	95	0.0%	6.0%	5.4%	7.0%	8.6%	6.3%	6.5%	0.0%
11	79	9.1%	6.0%	7.5%	4.8%	3.7%	4.2%	6.5%	11.1%
12	12	3.0%	2.0%	0.7%	0.9%	1.6%	0.3%	0.2%	5.6%
13	17	0.0%	4.0%	0.7%	0.9%	0.0%	0.9%	2.2%	0.0%
合計	1,459	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

問20 あなたは、HIV感染者やハンセン病患者・回復者等の人権を尊重するためには、どのようなところに問題があると思いますか。特に問題だと思うものに○をつけてください。（○は3つ以内）

選択項目	回答数	構成比
1 差別的な言動をされること	267	24.1%
2 結婚を周囲に反対されること	143	12.9%
3 就職や職場で不利な扱いをされること	189	17.1%
4 宿泊を拒否されること	44	4.0%
5 医療機関で治療や入院を断られること	91	8.2%
6 アパートなどへの入居を拒否されること	40	3.6%
7 特にない	24	2.2%
8 わからない	275	24.9%
9 その他	12	1.1%
10 無回答	21	1.9%
合計	1,106	100%

○ 「8 わからない」（24.9%）が最も高く、次いで「1 差別的な言動をされること」（24.1%）、「3 就職や職場で不利な扱いをされること」（17.1%）の順に高くなっている。

○ 性別では、男性は「8 わからない」（28.9%）が最も多く、女性より6.8ポイント高い。女性は「1 差別的な言動をされること」（24.3%）が最も高く、「3 就職や職場で不利な扱いをされること」は男性より3.9ポイント高くなっている。

選択項目	回答数	男	女	その他	答えたくない	無回答
1 差別的な言動をされること	267	24.6%	24.3%	0.0%	0.0%	21.1%
2 結婚を周囲に反対されること	143	13.2%	12.5%	0.0%	25.0%	15.8%
3 就職や職場で不利な扱いをされること	189	14.6%	18.5%	0.0%	12.5%	31.6%
4 宿泊を拒否されること	44	3.6%	4.2%	0.0%	12.5%	0.0%
5 医療機関で治療や入院を断られること	91	7.7%	8.5%	0.0%	12.5%	10.5%
6 アパートなどへの入居を拒否されること	40	3.2%	4.1%	0.0%	0.0%	0.0%
7 特にない	24	1.4%	2.8%	0.0%	0.0%	0.0%
8 わからない	275	28.9%	22.1%	100.0%	37.5%	15.8%
9 その他	12	0.9%	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%
10 無回答	21	1.8%	1.9%	0.0%	0.0%	5.3%
合計	1,106	100%	100%	100%	100%	100%

○ 年齢階層別では、「1 差別的な言動をされること」は10歳代及び20歳代が高く、「8 わからない」は30歳代及び40歳代が高いが、「1 差別的な言動をされること」及び「8 わからない」は全年齢層において高くなっている。

選択項目	回答数	16～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	無回答
1	267	32.1%	30.8%	24.0%	21.3%	27.4%	26.2%	21.1%	17.6%
2	143	21.4%	10.3%	12.5%	14.2%	14.6%	13.3%	11.0%	11.8%
3	189	14.3%	12.8%	11.5%	13.5%	17.1%	18.6%	19.3%	29.4%
4	44	0.0%	0.0%	5.8%	3.2%	3.7%	3.8%	5.1%	0.0%
5	91	7.1%	10.3%	7.7%	7.7%	4.3%	9.5%	9.2%	11.8%
6	40	0.0%	2.6%	1.9%	1.9%	2.4%	4.2%	5.7%	0.0%
7	24	0.0%	2.6%	3.8%	3.9%	1.2%	1.9%	1.8%	0.0%
8	275	25.0%	28.2%	30.8%	33.5%	23.2%	20.2%	23.5%	17.6%
9	12	0.0%	0.0%	1.9%	0.6%	3.7%	0.8%	0.3%	0.0%
10	21	0.0%	2.6%	0.0%	0.0%	2.4%	1.5%	3.0%	11.8%
合計	1,106	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

問21 あなたは、刑を終えて出所した人と、職場や地域社会で接する機会が生じたとき、どうしますか。次の中から一つに○をつけてください。

選択項目	回答数	構成比
1 他の人と変わりなく接する	194	27.8%
2 必要最低限のことしか接しない	172	24.7%
3 極力接しない	60	8.6%
4 わからない	226	32.4%
5 その他	30	4.3%
6 無回答	15	2.2%
合計	697	100%

○ 「4 わからない」(32.4%)が最も高く、次いで「1 他の人と変わりなく接する」(27.8%)、「2 必要最低限のことしか接しない」(24.7%)の順に高くなっている。

○ 性別では、男性は「1 他の人と変わりなく接する」(32.4%)が最も高く、女性と8.6ポイントの差がある。女性は「4 わからない」(37.1%)が最も高く、男性より11.2ポイント高い。

選択項目	回答数	男	女	その他	答えたくない	無回答
1 他の人と変わりなく接する	194	32.4%	23.8%	100.0%	20.0%	45.5%
2 必要最低限のことしか接しない	172	25.5%	24.3%	0.0%	20.0%	18.2%
3 極力接しない	60	9.3%	8.4%	0.0%	0.0%	0.0%
4 わからない	226	25.9%	37.1%	0.0%	60.0%	27.3%
5 その他	30	5.2%	3.8%	0.0%	0.0%	0.0%
6 無回答	15	1.7%	2.6%	0.0%	0.0%	9.1%
合計	697	100%	100%	100%	100%	100%

○ 年齢階層別では、10歳代及び20歳代は「1 他の人と変わりなく接する」が最も高く、その他の年齢層は「4 わからない」が最も高くなっている。

選択項目	回答数	16～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	無回答
1	194	47.4%	28.6%	21.7%	23.9%	31.5%	26.3%	28.8%	40.0%
2	172	15.8%	25.0%	27.5%	18.3%	23.1%	28.8%	26.3%	10.0%
3	60	0.0%	10.7%	8.7%	16.5%	6.5%	9.0%	5.6%	10.0%
4	226	31.6%	25.0%	33.3%	36.7%	33.3%	29.5%	32.3%	40.0%
5	30	5.3%	7.1%	8.7%	3.7%	4.6%	3.8%	3.0%	0.0%
6	15	0.0%	3.6%	0.0%	0.9%	0.9%	2.6%	4.0%	0.0%
合計	697	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

問22 あなたは、犯罪被害者等（犯罪被害者とその家族）の人権を尊重するためにはどのようなところに問題があると思いますか。特に問題だと思うものに○をつけてください。（○は3つ以内）

選択項目	回答数	構成比
1 過剰な取材などによる私生活の平穏が破られたりプライバシーの侵害があったりする	432	29.6%
2 相談しても必ずしも期待どおりの結果が得られないこと	88	6.0%
3 犯罪による精神的・経済的負担が大きいこと	208	14.2%
4 事件に関して周囲からの偏見や差別があること	214	14.7%
5 捜査・刑事裁判で受ける精神的負担に対し心のケアが不十分であること	72	4.9%
6 捜査や刑事裁判において犯罪被害者等に配慮した対応が不十分	58	4.0%
7 犯罪被害者等の人権に配慮した報道や取材が不十分	185	12.7%
8 犯罪予防・防止のための対応が不十分	44	3.0%
9 わからない	129	8.8%
10 その他	17	1.2%
11 無回答	13	0.9%
合計	1,460	100%

○ 「1 過剰な取材などによる私生活の平穏が破られたりプライバシーの侵害があったりする

こと」（29.6%）が最も高く、次いで「4 事件に関して周囲からの偏見や差別があること」（14.7%）、「3 犯罪による精神的・経済的負担が大きいこと」（14.2%）の順に高くなっている。

○ 性別では、男女ともに「1 過剰な取材などによる私生活の平穩が破られたりプライバシーの侵害があったりすること」に次いで「4 事件に関して周囲からの偏見や差別があること」が高い。

選択項目	回答数	男	女	その他	答えたくない	無回答
1 過剰な取材などによる私生活の平穩が破られたりプライバシーの侵害があったりすること	432	29.1%	29.9%	0.0%	42.9%	28.6%
2 相談しても必ずしも期待どおりの結果が得られないこと	88	8.0%	4.8%	0.0%	0.0%	4.8%
3 犯罪による精神的・経済的負担が大きいこと	208	13.0%	14.9%	0.0%	0.0%	28.6%
4 事件に関して周囲からの偏見や差別があること	214	13.2%	15.7%	0.0%	14.3%	14.3%
5 捜査・刑事裁判で受ける精神的負担に対し心のケアが不十分であること	72	4.7%	5.1%	0.0%	14.3%	0.0%
6 捜査や刑事裁判において犯罪被害者等に配慮した対応が不十分	58	3.7%	4.2%	0.0%	0.0%	4.8%
7 犯罪被害者等の人権に配慮した報道や取材が不十分	185	12.5%	13.0%	0.0%	0.0%	9.5%
8 犯罪予防・防止のための対応が不十分	44	3.2%	3.0%	0.0%	0.0%	0.0%
9 わからない	129	10.5%	7.4%	100.0%	28.6%	9.5%
10 その他	17	1.2%	1.2%	0.0%	0.0%	0.0%
11 無回答	13	0.8%	1.0%	0.0%	0.0%	0.0%
合計	1,460	100%	100%	100%	100%	100%

○ 年齢階層別では、全年齢層において「1 過剰な取材などによる私生活の平穩が破られたりプライバシーの侵害があったりすること」が最も高くなっている。「4 事件に関して周囲からの偏見や差別があること」は10歳代が最も高い。

選択項目	回答数	16～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	無回答
1	432	31.4%	31.7%	28.2%	28.6%	30.2%	30.3%	29.4%	26.3%
2	88	2.9%	8.3%	4.2%	7.6%	6.2%	5.0%	6.6%	5.3%
3	208	0.0%	18.3%	13.4%	14.3%	13.8%	13.9%	15.4%	21.1%
4	214	31.4%	10.0%	15.5%	14.3%	14.2%	15.6%	13.2%	15.8%
5	72	0.0%	5.0%	4.2%	4.0%	6.7%	5.6%	4.8%	0.0%
6	58	0.0%	0.0%	2.8%	4.0%	4.0%	6.4%	3.0%	5.3%
7	185	8.6%	11.7%	15.5%	12.1%	11.6%	14.4%	11.6%	10.5%
8	44	5.7%	3.3%	4.2%	3.1%	1.3%	3.1%	3.3%	0.0%
9	129	14.3%	8.3%	10.6%	11.6%	9.8%	5.0%	9.1%	10.5%
10	17	5.7%	1.7%	1.4%	0.4%	1.8%	0.3%	1.3%	5.3%
11	13	0.0%	1.7%	0.0%	0.0%	0.4%	0.6%	2.3%	0.0%
合計	1,460	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

問23 性的マイノリティ※17の人権を尊重するためには、どのようなところに問題があると思いますか。特に問題だと思うものに○をつけてください。（○は3つ以内）

選択項目	回答数	構成比
1 職場や学校、地域などで嫌がらせやいじめを受けること	213	18.2%
2 就職や職場で不当な扱いを受けること	174	14.9%
3 差別的な言動をされたり、じろじろ見られたり、避けられたりすること	296	25.3%
4 宿泊施設、入浴施設、スポーツクラブ等の施設利用を拒否されること	64	5.5%
5 提出書類等に性別の記載を求められること	161	13.7%
6 わからない	228	19.5%
7 その他	15	1.3%
8 無回答	20	1.7%
合計	1,171	100%

○ 「3 差別的な言動をされたり、じろじろ見られたり、避けられたりすること」（25.3%）が最も高く、次いで、「6 わからない」（19.5%）、「1 職場や学校、地域などで嫌がらせやいじめを受けること」（18.2%）の順に高くなっている。

○ 性別では、男女ともに「3 差別的な言動をされたり、じろじろ見られたり、避けられたりすること」が最も高く、次いで男性は「6 わからない」、女性は「1 職場や学校、地域などで嫌がらせやいじめを受けること」が高くなっている。

選択項目	回答数	男	女	その他	答えたくない	無回答
1 職場や学校、地域などで嫌がらせやいじめを受けること	213	19.0%	17.7%	0.0%	10.0%	22.2%
2 就職や職場で不当な扱いを受けること	174	13.4%	16.1%	0.0%	10.0%	11.1%
3 差別的な言動をされたり、じろじろ見られたり、避けられたりすること	296	24.6%	25.6%	100.0%	20.0%	27.8%
4 宿泊施設、入浴施設、スポーツクラブ等の施設利用を拒否されること	64	4.5%	5.9%	0.0%	20.0%	5.6%
5 提出書類等に性別の記載を求められること	161	11.4%	15.3%	0.0%	20.0%	11.1%
6 わからない	228	23.3%	16.8%	0.0%	20.0%	22.2%
7 その他	15	1.5%	1.2%	0.0%	0.0%	0.0%
8 無回答	20	2.2%	1.5%	0.0%	0.0%	0.0%
合計	1,171	100%	100%	100%	100%	100%

○ 年齢階層別では、70歳代を除く年齢層で「3 差別的な言動をされたり、じろじろ見られたり、避けられたりすること」が最も高く、70歳代は「6 わからない」（26.3%）が最も高くなっている。

選択項目	回答数	16～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	無回答
1	213	25.8%	22.0%	20.3%	19.6%	20.3%	17.4%	14.6%	22.2%
2	174	6.5%	7.3%	14.4%	15.2%	13.9%	16.7%	15.8%	11.1%
3	296	32.3%	24.4%	22.9%	24.5%	25.7%	30.1%	21.2%	33.3%
4	64	9.7%	4.9%	4.2%	6.5%	7.0%	4.7%	5.1%	0.0%
5	161	9.7%	12.2%	16.1%	11.4%	15.0%	14.9%	13.0%	16.7%
6	228	16.1%	19.5%	17.8%	22.8%	15.0%	13.8%	26.3%	16.7%
7	15	0.0%	7.3%	3.4%	0.0%	1.6%	1.4%	0.3%	0.0%
8	20	0.0%	2.4%	0.8%	0.0%	1.6%	1.1%	3.8%	0.0%
合計	1,171	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

問24-① あなたは、過去5年間のうちに人権問題に関する学習会や講演会・研修会に参加したことがありますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

選択項目	合計（人）	構成比
1 10回以上参加した	25	3.6%
2 5～9回参加した	82	11.8%
3 1～4回参加した	285	40.9%
4 参加したことがない	293	42.0%
5 無回答	12	1.7%
合計	697	100%

○ 「4 参加したことがない」（42.0%）が最も高く、次いで「3 1～4回参加した」（40.9%）が高くなっている。

○ 性別では、女性は「4 参加したことがない」（42.5%）が最も高く、男性は「3 1～4回参加した」と「4 参加したことがない」が高くなっている。

選択項目	合計（人）	男	女	その他	答えたくない	無回答
1 10回以上参加した	25	3.8%	3.6%	0.0%	0.0%	0.0%
2 5～9回参加した	82	11.7%	11.8%	0.0%	0.0%	20.0%
3 1～4回参加した	285	41.4%	41.2%	0.0%	40.0%	20.0%
4 参加したことがない	293	41.0%	42.5%	100.0%	60.0%	40.0%
5 無回答	12	2.1%	1.0%	0.0%	0.0%	20.0%
合計	697	100%	100%	100%	100%	100%

○ 年齢階層別では、10歳代から30歳代及び60歳代は「4 参加したことがない」が最も多く、中でも20歳代及び30歳代は5割以上となっている。60歳代を除く40歳代以上は「3 1～4回参加した」が最も高くなっている。

選択項目	合計（人）	16～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	無回答
1	25	15.8%	0.0%	1.4%	4.6%	3.7%	4.5%	2.5%	0.0%
2	82	5.3%	14.3%	11.6%	11.0%	11.1%	13.5%	11.1%	20.0%
3	285	36.8%	17.9%	26.1%	45.9%	51.9%	39.7%	43.4%	10.0%
4	293	42.1%	67.9%	59.4%	37.6%	33.3%	41.7%	39.4%	50.0%
5	12	0.0%	0.0%	1.4%	0.9%	0.0%	0.6%	3.5%	20.0%
合計	697	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

問24-② 質問24-①で「4 参加したことがない」と回答された方にお聞きします。参加しなかったのはなぜですか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

選択項目	合計（人）	構成比
1 そのような学習会や講演会、研修会が行われていることを知らなかった	95	13.6%
2 知っていたが参加する気がなかった	69	9.9%
3 自分とは関係ないと思い、参加しなかった	28	4.0%
4 直接呼びかけがなかった	51	7.3%
5 その他	45	6.5%
6 無回答	409	58.7%
合計	697	100%

○ 「6 無回答」が約6割を占める。「1 そのような学習会や講演会、研修会が行われていることを知らなかった」が13.6%、「2 知っていたが参加する気がなかった」（9.9%）となっている。

○ 性別では、男女ともに「1 そのような学習会や講演会、研修会が行われていることを知らなかった」が最も高く、次いで「2 知っていたが参加する気がなかった」となっている。

選択項目	合計（人）	男	女	その他	答えたくない	無回答
1 そのような学習会や講演会、研修会が行われていることを知らなかった	95	13.1%	14.1%	100.0%	20.0%	0.0%
2 知っていたが参加する気がなかった	69	9.7%	10.0%	0.0%	20.0%	10.0%
3 自分とは関係ないと思い、参加しなかった	28	4.8%	3.3%	0.0%	0.0%	10.0%
4 直接呼びかけがなかった	51	8.3%	6.4%	0.0%	20.0%	10.0%
5 その他	45	4.5%	7.9%	0.0%	0.0%	10.0%
6 無回答	409	59.7%	58.3%	0.0%	40.0%	60.0%
合計	697	100%	100%	100%	100%	100%

○ 年齢別では、10歳代～50歳代は「1 そのような学習会や講演会、研修会が行われていることを知らなかった」が最も高く、60歳代及び70歳代は「2 知っていたが参加する気がなかった」が高くなっている。60歳代は「4 直接呼びかけがなかった」も高くなっている。

選択項目	合計（人）	16～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	無回答
1	95	26.3%	46.4%	21.7%	11.0%	13.9%	8.3%	10.6%	10.0%
2	69	0.0%	7.1%	8.7%	6.4%	11.1%	10.3%	12.6%	10.0%
3	28	5.3%	3.6%	5.8%	3.7%	0.9%	4.5%	4.5%	10.0%
4	51	5.3%	7.1%	10.1%	8.3%	3.7%	10.3%	5.6%	10.0%
5	45	5.3%	3.6%	13.0%	8.3%	3.7%	7.1%	4.5%	10.0%
6	409	57.9%	32.1%	40.6%	62.4%	66.7%	59.6%	62.1%	50.0%
合計	697	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

問25 同和問題をはじめさまざまな人権問題について学習を進めていく上で、あなたはどのような学習方法や啓発活動が重要だと思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

選択項目	回答数	構成比
1 講演会の開催	232	14.0%
2 居住地域での同和（人権）教育町内学習会の開催	168	10.2%
3 体験的参加型学習（ワークショップなど）の開催	124	7.5%
4 当事者との交流会や懇談会の開催	140	8.5%
5 連続した人権教育講座の開催	89	5.4%
6 映画やビデオの上映	173	10.5%
7 広報紙・パンフレット・ポスターの作成	89	5.4%
8 パネルなどの展示会の開催	37	2.2%
9 テレビ・ラジオなどのマスメディア利用	147	8.9%
10 インターネットやSNSによる啓発情報の発信	146	8.8%
11 高齢者や障がいのある人の疑似体験	151	9.1%
12 特にない（有効な方法はない）	87	5.3%
13 その他	30	1.8%
14 無回答	42	2.5%
合計	1,655	100%

○ 「1 講演会の開催」（14.0%）が最も高く、次いで「6 映画やビデオの上映」（10.5%）、
「2 居住地域での同和（人権）教育町内学習会の開催」（10.2%）の順に高くなっている。

○ 性別では、男女ともに「1 講演会の開催」が最も高い。次いで、男性は「2 居住地域での同和（人権）教育町内学習会の開催」（11.2%）が高く、女性は「6 映画やビデオの上映」（10.9%）、
「11 高齢者や障がいのある人の疑似体験」（10.8%）となっている。

選択項目	回答数	男	女	その他	答えたくない	無回答
1 講演会の開催	232	14.8%	13.8%	0.0%	0.0%	5.0%
2 居住地域での同和（人権）教育町内学習会の開催	168	11.2%	9.5%	0.0%	14.3%	5.0%
3 体験的参加型学習（ワークショップなど）の開催	124	5.9%	8.6%	0.0%	14.3%	5.0%
4 当事者との交流会や懇談会の開催	140	7.3%	9.0%	0.0%	28.6%	15.0%
5 連続した人権教育講座の開催	89	5.7%	5.3%	0.0%	0.0%	0.0%
6 映画やビデオの上映	173	9.7%	10.9%	0.0%	14.3%	15.0%
7 広報紙・パンフレット・ポスターの作成	89	4.5%	5.9%	100.0%	0.0%	5.0%
8 パネルなどの展示会の開催	37	2.3%	2.3%	0.0%	0.0%	0.0%
9 テレビ・ラジオなどのマスメディア利用	147	9.5%	8.4%	0.0%	0.0%	15.0%
10 インターネットやSNSによる啓発情報の発信	146	9.5%	8.5%	0.0%	0.0%	5.0%
11 高齢者や障がいのある人の疑似体験	151	6.7%	10.8%	0.0%	14.3%	10.0%
12 特にない（有効な方法はない）	87	7.3%	3.7%	0.0%	14.3%	10.0%
13 その他	30	2.9%	1.0%	0.0%	0.0%	5.0%
14 無回答	42	2.7%	2.4%	0.0%	0.0%	5.0%
合計	1,655	100%	100%	100%	100%	100%

○ 年齢階層別では、「9 テレビ・ラジオなどのマスメディア利用」及び「10 インターネットやSNSによる啓発情報の発信」は20歳代が最も高く、10歳代及び40歳代～60歳代は「1 講演会の開催」が最も高い。70歳代は「2 居住地での同和（人権）教育町内学習会の開催」が最も高くなっている。

選択項目	回答数	16～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	無回答
1	232	17.1%	7.2%	10.5%	15.0%	17.2%	14.7%	13.2%	5.0%
2	168	7.3%	5.8%	4.3%	7.1%	9.7%	12.6%	13.5%	5.0%
3	124	2.4%	5.8%	6.8%	9.8%	7.9%	9.3%	5.3%	5.0%
4	140	9.8%	4.3%	10.5%	9.1%	7.2%	9.5%	7.4%	15.0%
5	89	2.4%	2.9%	4.3%	4.3%	4.8%	4.9%	8.1%	0.0%
6	173	12.2%	10.1%	6.8%	9.8%	9.0%	10.3%	13.2%	10.0%
7	89	7.3%	4.3%	8.0%	5.5%	6.2%	3.6%	5.3%	5.0%
8	37	2.4%	2.9%	3.1%	2.0%	3.1%	1.8%	1.9%	0.0%
9	147	9.8%	20.3%	11.7%	8.3%	10.3%	7.2%	6.5%	15.0%
10	146	9.8%	18.8%	15.4%	12.2%	9.7%	7.0%	3.7%	10.0%
11	151	9.8%	5.8%	8.6%	9.8%	9.3%	11.1%	7.4%	10.0%
12	87	2.4%	7.2%	6.2%	3.1%	2.8%	4.4%	8.4%	10.0%
13	30	2.4%	1.4%	2.5%	2.4%	1.0%	1.3%	2.1%	5.0%
14	42	4.9%	2.9%	1.2%	1.6%	1.7%	2.3%	3.9%	5.0%
合計	1,655	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

問26 同和問題をはじめさまざまな人権問題について学習を進めていく上で、あなたが関心のある人権問題について、あてはまるものに○をつけてください。（○は3つ以内）

選択項目	回答数	構成比
1 同和問題（部落差別）	95	6.2%
2 障がいのある人の人権問題	216	14.1%
3 女性の人権問題	168	11.0%
4 アイヌ先住民族の人権問題	23	1.5%
5 外国にルーツを持つ人の人権問題	45	2.9%
6 子どもの人権問題	196	12.8%
7 高齢者の人権問題	160	10.5%
8 病気にかかわる人の人権問題	83	5.4%
9 刑を終えて出所した人の人権問題	32	2.1%
10 犯罪被害者やその家族の人権問題	57	3.7%
11 性的マイノリティ（LGBTQ+）の人権問題	72	4.7%
12 拉致（らち）被害者の人権問題	42	2.7%
13 インターネット上のSNS等による人権問題	223	14.6%
14 特にない	70	4.6%
15 その他	17	1.1%
16 無回答	32	2.1%
合計	1,531	100%

○ 「13 インターネット上のSNS等による人権問題」（14.6%）、「2 障がいのある人の人権問題」（14.1%）、「6 子どもの人権問題」（12.8%）、「女性の人権問題」（11.0%）、「7 高齢者の人権問題」（10.5%）となっている。

○ 性別では、男性は「13 インターネット上のSNS等による人権問題」（16.8%）が最も高く、次いで「2 障がいのある人の人権問題」（16.5%）となっている。女性は「3 女性の人権問題」（15.2%）が最も高く、女性が10.2ポイント高くなっている。

選択項目	回答数	男	女	その他	答えたくない	無回答
1 同和問題（部落差別）	95	8.7%	4.5%	0.0%	9.1%	4.3%
2 障がいのある人の人権問題	216	16.5%	12.4%	33.3%	0.0%	21.7%
3 女性の人権問題	168	5.0%	15.2%	0.0%	9.1%	8.7%
4 アイヌ先住民族の人権問題	23	1.3%	1.7%	0.0%	0.0%	0.0%
5 外国にルーツを持つ人の人権問題	45	3.6%	2.4%	0.0%	9.1%	4.3%
6 子どもの人権問題	196	12.2%	13.5%	0.0%	9.1%	4.3%
7 高齢者の人権問題	160	10.2%	10.6%	0.0%	0.0%	17.4%
8 病気にかかわる人の人権問題	83	4.1%	6.2%	33.3%	0.0%	8.7%
9 刑を終えて出所した人の人権問題	32	1.7%	2.3%	0.0%	9.1%	4.3%
10 犯罪被害者やその家族の人権問題	57	4.6%	2.9%	0.0%	9.1%	8.7%
11 性的マイノリティ（LGBTQ+）の人権問題	72	3.5%	5.5%	33.3%	9.1%	0.0%
12 拉致（らち）被害者の人権問題	42	2.3%	3.2%	0.0%	0.0%	0.0%
13 インターネット上のSNS等による人権問題	223	16.8%	13.2%	0.0%	18.2%	8.7%
14 特になし	70	6.1%	3.5%	0.0%	18.2%	0.0%
15 その他	17	1.3%	0.9%	0.0%	0.0%	4.3%
16 無回答	32	2.0%	2.1%	0.0%	0.0%	4.3%
合計	1,531	100%	100%	100%	100%	100%

○ 年齢階層別では、20歳代は「13 インターネット上のSNS等による人権問題」（25.0%）が最も高く、他の年齢層の中で最も高くなっている。30歳代及び40歳代は「6 子どもの人権問題」が最も高い。10歳代は「1 同和問題（部落差別）」及び「2 障がいのある人の人権問題」（いずれも14.3%）が最も高く、70歳代は「2 障がいのある人の人権問題」（17.7%）が最も高くなっている。

選択項目	回答数	16～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	無回答
1	95	14.3%	2.1%	5.0%	4.9%	6.7%	6.7%	6.4%	4.8%
2	216	14.3%	12.5%	12.1%	10.6%	13.0%	13.7%	17.7%	23.8%
3	168	9.5%	12.5%	11.3%	12.6%	9.9%	13.1%	8.6%	9.5%
4	23	0.0%	0.0%	2.1%	0.4%	2.4%	1.3%	2.0%	0.0%
5	45	4.8%	4.2%	3.5%	2.4%	3.2%	4.3%	1.5%	0.0%
6	196	11.9%	12.5%	17.7%	17.1%	12.6%	11.3%	10.6%	4.8%
7	160	9.5%	6.3%	2.1%	8.1%	7.9%	13.4%	13.8%	19.0%
8	83	4.8%	2.1%	7.1%	5.7%	5.9%	6.4%	3.7%	9.5%
9	32	4.8%	0.0%	2.1%	2.4%	2.4%	1.9%	1.7%	4.8%
10	57	0.0%	0.0%	3.5%	4.5%	3.6%	3.8%	4.2%	4.8%
11	72	7.1%	8.3%	5.7%	7.7%	7.5%	2.4%	2.5%	0.0%
12	42	2.4%	2.1%	3.5%	1.6%	2.0%	2.7%	3.9%	0.0%
13	223	9.5%	25.0%	15.6%	15.0%	19.0%	13.7%	11.8%	4.8%
14	70	2.4%	8.3%	5.7%	5.3%	3.2%	4.0%	4.9%	4.8%
15	17	0.0%	2.1%	1.4%	1.2%	0.0%	1.1%	1.5%	4.8%
16	32	4.8%	2.1%	1.4%	0.4%	0.8%	0.3%	5.4%	4.8%
合計	1,531	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

問27 人権が尊重される社会を実現するためには、行政の施策としてどのような取り組みが必要だと思いますか。次の中からあなたの考えに近いものに○をつけてください。（○は3つ以内）

選択項目	回答数	構成比
1 人権に関する意識を大人がしっかり持つよう啓発、研修を充実させる	251	17.2%
2 認定こども園・保育所において人権教育（保育）を充実させる	102	7.0%
3 学校において人権教育を充実させる	293	20.1%
4 社会に見られる不合理な格差を解消するための施策を充実させる	211	14.4%
5 人権侵害を受けた人や社会的に弱い立場にある人を支援・救済していく	179	12.3%
6 公務員など公的機関に勤める職員が全体の奉仕者として人権意識をしっかり持つ	80	5.5%
7 人権侵害を行った人などに対する必要な法律的措置の制定を行う	145	9.9%
8 人権擁護等の活動を行うNPO（民間団体）や企業に対して必要な支援をする	73	5.0%
9 現状の社会では人権は十分尊重されており、新たな取り組みは不要である	3	0.2%
10 わからない	80	5.5%
11 その他	16	1.1%
12 無回答	28	1.9%
合計	1,461	100%

○ 「3 学校において人権教育を充実させる」（20.1%）が最も高く、次いで、「1 人権に関する意識を大人がしっかり持つよう啓発、研修を充実させる」（17.2%）、「4 社会に見られる不合理な格差を解消するための施策を充実させる」（14.4%）の順に高くなっている。

○ 性別では、男女ともに「3 学校において人権教育を充実させる」が最も高く、次いで「1 人権に関する意識を大人がしっかり持つよう啓発、研修を充実させる」、「4 社会に見られる不合理な格差を解消するための施策を充実させる」の順に高くなっている。

選択項目	回答数	男	女	その他	答えたくない	無回答
1 人権に関する意識を大人がしっかり持つよう啓発、研修を充実させる	251	17.5%	17.3%	0.0%	0.0%	11.1%
2 認定こども園・保育所において人権教育（保育）を充実させる	102	4.5%	8.6%	33.3%	0.0%	11.1%
3 学校において人権教育を充実させる	293	21.5%	18.9%	0.0%	14.3%	25.9%
4 社会に見られる不合理な格差を解消するための施策を充実させる	211	12.8%	15.5%	33.3%	28.6%	11.1%
5 人権侵害を受けた人や社会的に弱い立場にある人を支援・救済していく	179	11.3%	12.9%	0.0%	14.3%	14.8%
6 公務員など公的機関に勤める職員が全体の奉仕者として人権意識をしっかり持つ	80	6.7%	4.3%	33.3%	0.0%	11.1%
7 人権侵害を行った人などに対する必要な法律的措置の制定を行う	145	10.4%	9.8%	0.0%	0.0%	7.4%
8 人権擁護等の活動を行うNPO（民間団体）や企業に対して必要な支援をする	73	5.6%	4.6%	0.0%	0.0%	7.4%
9 現状の社会では人権は十分尊重されており、新たな取り組みは不要である	3	0.2%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%
10 わからない	80	6.4%	4.7%	0.0%	42.9%	0.0%
11 その他	16	1.2%	1.1%	0.0%	0.0%	0.0%
12 無回答	28	1.9%	2.0%	0.0%	0.0%	0.0%
合計	1,461	100%	100%	100%	100%	100%

○ 年齢階層別では、全年齢層において「3 学校において人権教育を充実させる」が高い。50歳代は「1 人権に関する意識を大人がしっかり持つよう啓発、研修を充実させる」（19.6%）が最も高く、20歳代は「4 社会に見られる不合理な格差を解消するための施策を充実させる」及び「5 人権侵害を受けた人や社会的に弱い立場にある人を支援・救済していく」（いずれも17.3%）が最も高い。

選択項目	回答数	16～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	無回答
1	251	12.1%	7.7%	16.3%	18.1%	19.6%	16.7%	18.0%	12.0%
2	102	9.1%	9.6%	9.2%	9.3%	5.8%	6.7%	5.1%	12.0%
3	293	21.2%	13.5%	20.6%	22.2%	19.1%	20.9%	18.8%	28.0%
4	211	15.2%	17.3%	10.6%	11.1%	12.9%	17.5%	15.6%	8.0%
5	179	9.1%	17.3%	10.6%	9.7%	13.3%	14.5%	11.2%	12.0%
6	80	6.1%	3.8%	4.3%	3.7%	6.2%	4.7%	6.8%	12.0%
7	145	12.1%	15.4%	13.5%	13.0%	11.6%	9.5%	5.9%	8.0%
8	73	3.0%	1.9%	1.4%	3.2%	5.8%	5.0%	7.3%	4.0%
9	3	0.0%	0.0%	0.0%	0.5%	0.0%	0.0%	0.5%	0.0%
10	80	12.1%	11.5%	8.5%	6.9%	3.6%	3.1%	5.6%	4.0%
11	16	0.0%	0.0%	3.5%	1.9%	1.3%	0.3%	0.7%	0.0%
12	28	0.0%	1.9%	1.4%	0.5%	0.9%	1.1%	4.4%	0.0%
合計	1,461	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%